

第7次

県南東部保健医療圏

地域保健医療計画の進捗状況

(平成28年度～29年度)

平成29年3月

目 次

1	保健医療圏の保健医療の現状	
	(1)人口及び人口動態 1
	①人口 1
	②人口動態 2
	(2)保健医療資源の状況 5
	①医療施設 6
	②保健関係施設 6
	③保健医療従事者 6
	(3)受療の動向 7
	①患者数 7
	②受療動向 7
	③病床利用率・平均在院日数 7
2	医療提供体制の構築 8
	(1)地域医療構想 8
	(2)5疾病・5事業及び在宅医療の医療連携体制 10
	①がん 14
	②脳卒中 16
	③急性心筋梗塞 17
	④糖尿病 19
	⑤精神疾患 21
	⑥救急医療 22
	⑦災害時医療 23
	⑧へき地医療 24
	⑨周産期医療 25
	⑩小児医療(小児救急医療を含む) 26
	⑪在宅医療 29
	(3)公的病院等が担う役割 30
	(4)医療安全対策 31
	(5)医薬分業 32
3	保健医療対策の推進 32
	①健康増進・生活習慣病予防 36
	②母子保健 39
	③高齢者支援 41
	④歯科保健 43
	⑤結核・感染症対策 46
	⑥難病対策 48
	⑦健康危機管理 49
	⑧医薬品等安全対策 49
	⑨血液確保対策 50
	⑩薬物乱用防止対策 50
	⑪生活衛生対策 51
	⑫食品安全対策 51
4	保健医療従事者の確保と資質の向上 53

○用語の注意

- ・圏域：岡山市、玉野市、瀬戸内市、吉備中央町、備前市、赤磐市、和気町の
5市2町
- ・管内：玉野市、瀬戸内市、吉備中央町、備前市、赤磐市、和気町の4市2町
- ・岡山地域、本所：玉野市、瀬戸内市、吉備中央町の2市1町
- ・東備地域、支所：備前市、赤磐市、和気町の2市1町

1 保健医療圏の保健医療の現状

(1) 人口及び人口動態

① 人口

ア 人口の推移

人口(各年10月1日現在)

(単位:人)

区分	岡山市	岡山地域	東備地域	圏域
昭和55年	590,424	131,108	105,401	826,933
60年	618,950	131,188	106,944	857,082
平成2年	640,406	127,277	105,176	872,859
7年	663,346	126,065	105,093	894,504
12年	674,375	123,621	103,162	901,158
17年	696,172	120,168	100,334	916,674
22年	709,584	115,473	96,659	921,716
27年	716,411	109,316	92,675	918,402

(資料:総務省統計局「国勢調査」、岡山県統計分析課「岡山県毎月流動人口調査」)

<注>旧灘崎町、旧御津町、旧建部町、旧瀬戸町は岡山市に含め、岡山地域には旧賀陽町を含む。

※県南東部保健医療圏域を岡山市、岡山市周辺の岡山地域(玉野市、瀬戸内市、吉備中央町)、東備地域(備前市、赤磐市、和気町)に区分して統計を表記した。

なお、各欄の数値は原則としてその当時の行政区域によるが、加工を行ったものは、それぞれ <注>を表示した。

イ 年齢階級別人口

人口構成(平成27年10月1日現在)

区分	総数	0歳～14歳		15歳～64歳		65歳以上	
		年少人口		生産年齢人口		老年人口	
		人口(人)	構成比(%)	人口(人)	構成比(%)	人口(人)	構成比(%)
圏域	918,402	120,987	13.3	543,874	59.7	245,863	27.0
岡山県	1,918,942	253,069	13.3	1,105,179	58.1	544,655	28.6

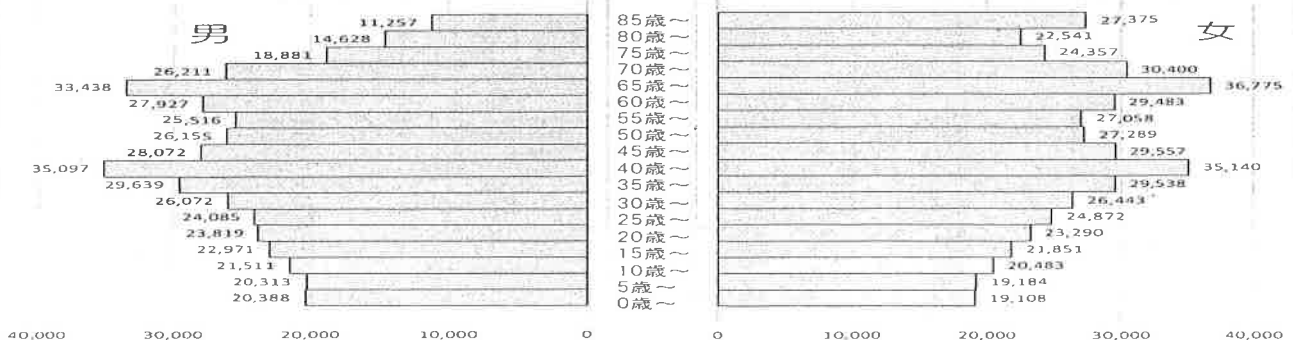
(資料:岡山県統計分析課「岡山県毎月流動人口調査」)

※「総数」には年齢不詳等を含む。

※構成比については、分母から年齢不詳を除いて算出している。

人口ピラミッド(平成27年10月1日現在)

(単位:人)

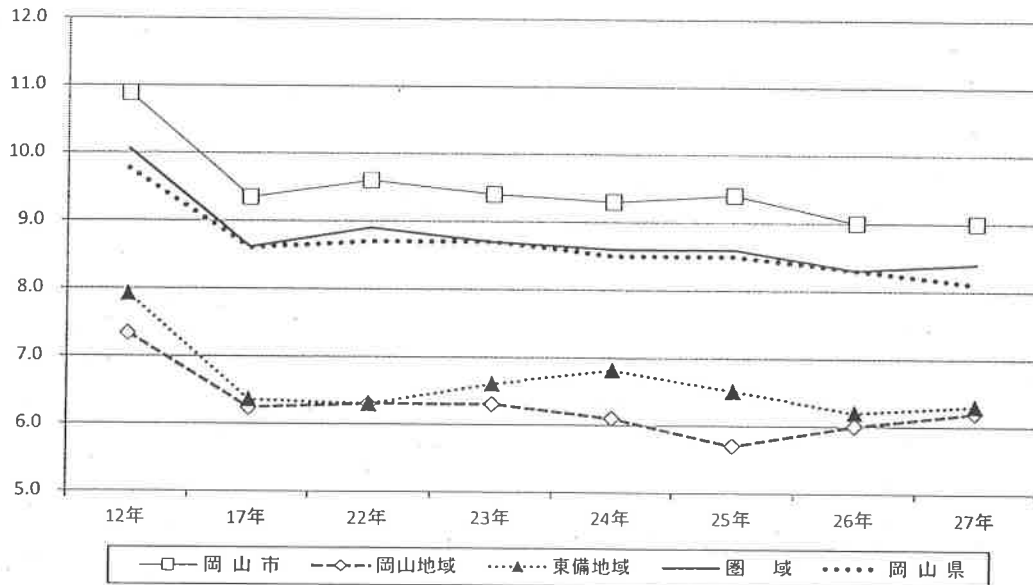


(資料:岡山県統計分析課「岡山県毎月流動人口調査」)

② 人口動態

ア 出生

出生率(人口千対)



(資料:厚生労働省「人口動態統計」、岡山県統計分析課「岡山県毎月流動人口調査」)

出生数及び出生率(人口千対)

(単位:人)()内は率

区分	平成12年	17年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
岡山市	7,339 (10.9)	6,506 (9.3)	6,752 (9.6)	6,698 (9.4)	6,609 (9.3)	6,700 (9.4)	6,397 (9.0)	6,449 (9.0)
岡山地域	907 (7.3)	750 (6.2)	728 (6.3)	723 (6.3)	686 (6.1)	634 (5.7)	664 (6.0)	674 (6.2)
東備地域	817 (7.9)	638 (6.4)	609 (6.3)	632 (6.6)	647 (6.8)	611 (6.5)	579 (6.2)	588 (6.3)
圏域	9,063 (10.1)	7,894 (8.6)	8,089 (8.9)	8,053 (8.7)	7,942 (8.6)	7,945 (8.6)	7,640 (8.3)	7,711 (8.4)
岡山県	19,059 (9.8)	16,688 (8.6)	16,759 (8.7)	16,635 (8.7)	16,279 (8.5)	16,210 (8.5)	15,837 (8.3)	15,599 (8.1)

(資料:厚生労働省「人口動態統計」、岡山県統計分析課「岡山県毎月流動人口調査」)

<注> 旧灘崎町、旧御津町、旧建部町、旧瀬戸町は岡山市に含め、岡山地域には旧賀陽町を含む。

イ 死亡

(ア)死亡数及び死亡率(人口千対)

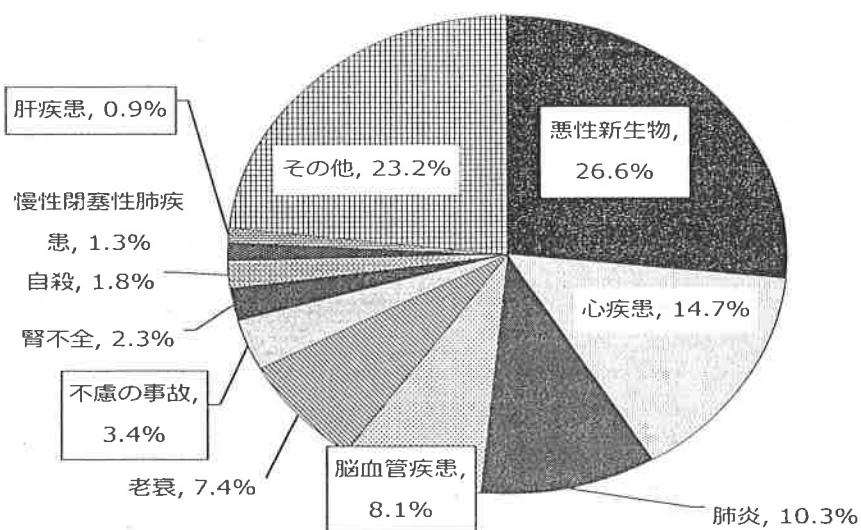
(単位:人)()内は率

区分	平成12年	17年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
岡山市	5,030 (7.5)	5,300 (7.6)	6,088 (8.7)	6,088 (8.7)	6,414 (9.0)	6,426 (9.0)	6,388 (8.9)	6,555 (9.1)
岡山地域	1,232 (10.0)	1,374 (11.4)	1,525 (13.2)	1,525 (13.2)	1,517 (13.4)	1,586 (14.2)	1,475 (13.3)	1,576 (14.4)
東備地域	1,092 (10.6)	1,111 (11.1)	1,208 (12.5)	1,208 (12.6)	1,283 (13.5)	1,265 (13.4)	1,220 (13.0)	1,237 (13.3)
圏域	7,354 (8.2)	7,785 (8.5)	8,821 (9.7)	8,821 (9.6)	9,214 (10.0)	9,277 (10.1)	9,083 (9.9)	9,368 (10.2)
岡山県	16,907 (8.7)	18,428 (9.5)	20,248 (10.5)	20,248 (10.6)	21,181 (11.0)	21,199 (11.1)	21,051 (11.0)	21,525 (11.2)

(資料:厚生労働省「人口動態統計」、岡山県統計分析課「毎月流動人口調査」)

<注> 旧灘崎町、旧御津町、旧建部町、旧瀬戸町は岡山市に含め、岡山地域には旧賀陽町を含む。

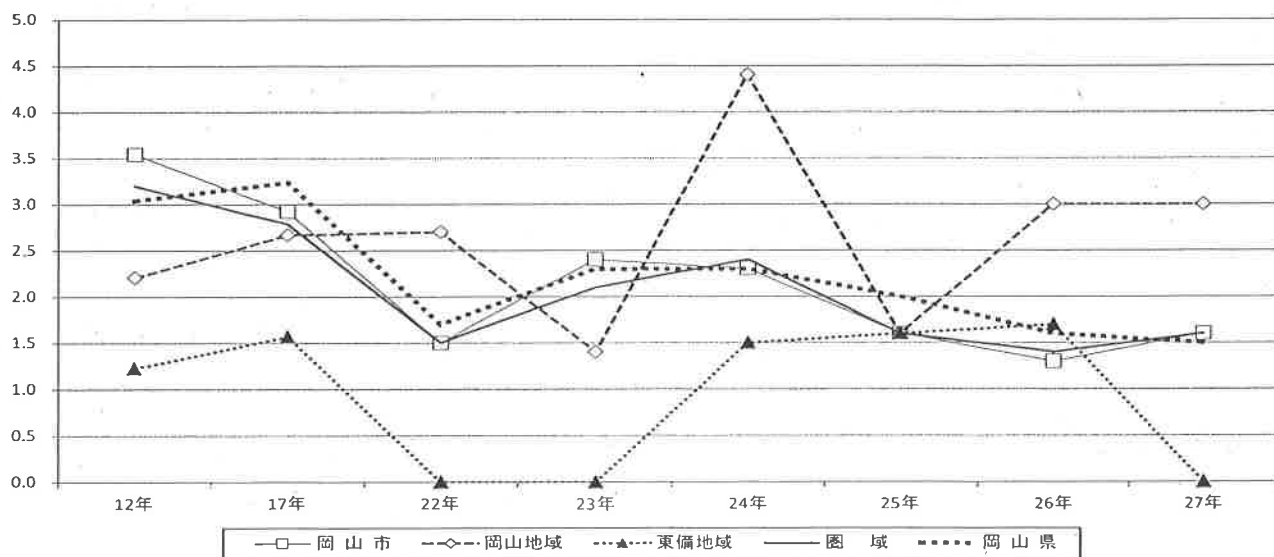
(イ) 主な死因別の死亡割合



(資料:厚生労働省「平成27年人口動態統計」)

ウ 乳児死亡

乳児死亡率(出生千対)



(資料:厚生労働省「人口動態統計」、岡山県統計分析課「岡山県毎月流動人口調査」)

乳児死亡数及び乳児死亡率(出生千対)

(単位:人)()内は率

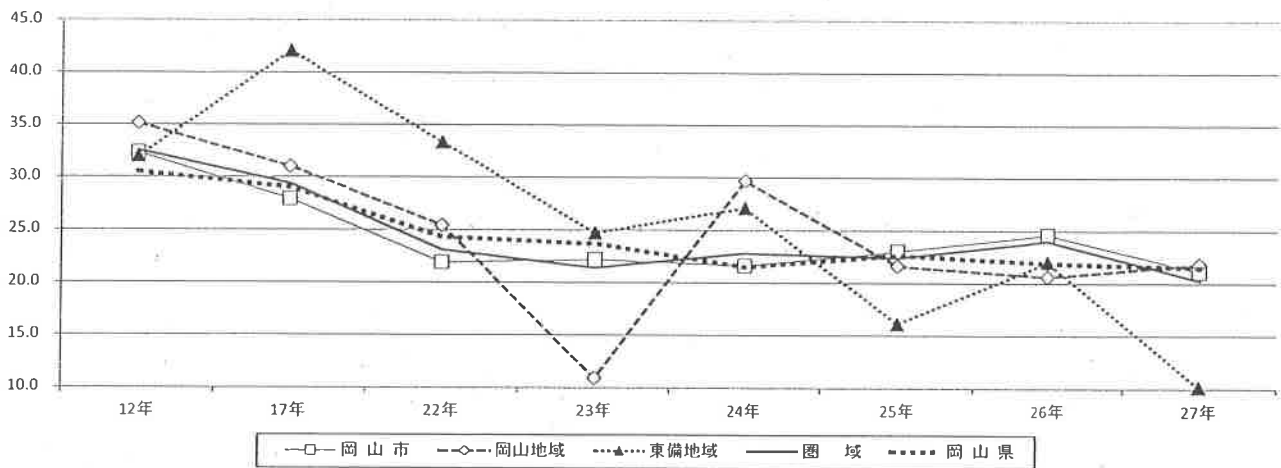
区分	平成12年	17年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
岡山市	26 (3.5)	19 (2.9)	10 (1.5)	16 (2.4)	15 (2.3)	11 (1.6)	8 (1.3)	10 (1.6)
岡山地域	2 (2.2)	2 (2.7)	2 (2.7)	1 (1.4)	3 (4.4)	1 (1.6)	2 (3.0)	2 (3.0)
東備地域	1 (1.2)	1 (1.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.5)	1 (1.6)	1 (1.7)	0 (0.0)
圏域	29 (3.2)	22 (2.8)	12 (1.5)	17 (2.1)	19 (2.4)	13 (1.6)	11 (1.4)	12 (1.6)
岡山県	58 (3.0)	54 (3.2)	29 (1.7)	39 (2.3)	38 (2.3)	32 (2.0)	26 (1.6)	23 (1.5)

(資料:厚生労働省「人口動態統計」、岡山県統計分析課「岡山県毎月流動人口調査」)

<注>旧灘崎町、旧御津町、旧建部町、旧瀬戸町は岡山市に含め、岡山地域には旧賀陽町を含む。

工 死産

死産率(出産千対)



(資料:厚生労働省「人口動態統計」、岡山県統計分析課「岡山県毎月流動人口調査」)

死産数及び死産率(出産千対)

(単位:人)()内は率

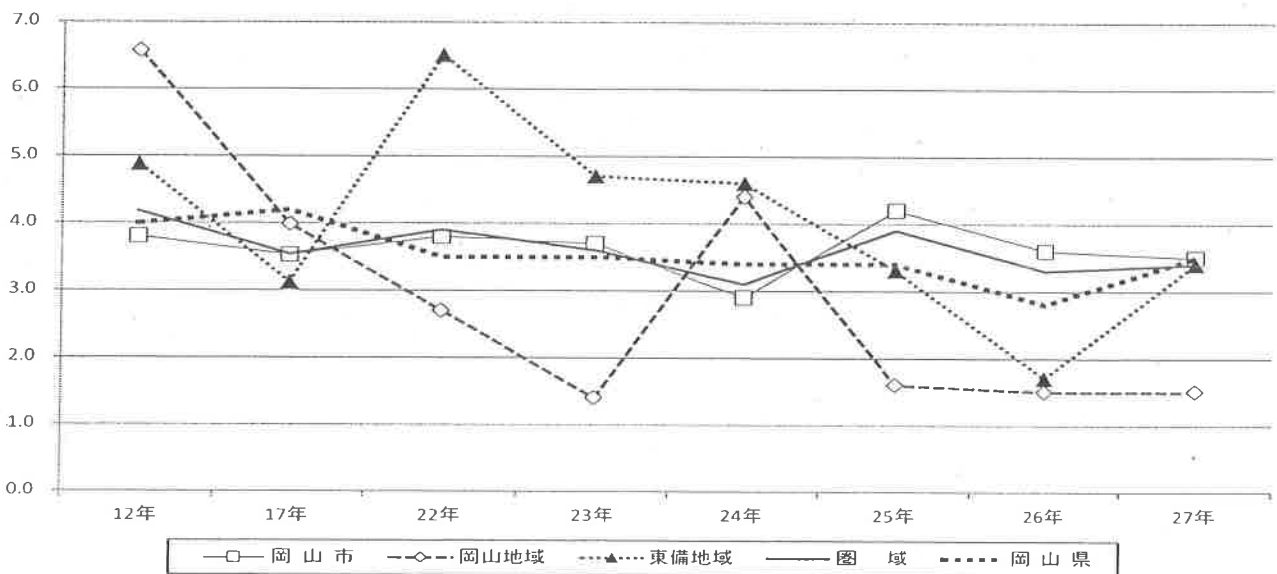
区分	12年	17年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
岡山市	245 (32.3)	187 (27.9)	151 (21.9)	152 (22.2)	146 (21.6)	158 (23.0)	161 (24.6)	139 (21.1)
岡山地域	33 (35.1)	24 (31.0)	19 (25.4)	8 (10.9)	21 (29.7)	14 (21.6)	14 (20.6)	15 (21.8)
東備地域	27 (32.0)	28 (42.0)	21 (33.3)	16 (24.7)	18 (27.1)	10 (16.1)	13 (22.0)	6 (10.1)
圏域	305 (32.6)	239 (29.4)	191 (23.1)	176 (21.4)	185 (22.8)	182 (22.4)	188 (24.0)	160 (20.3)
岡山県	600 (30.5)	499 (29.0)	418 (24.3)	404 (23.7)	357 (21.5)	375 (22.6)	354 (21.9)	342 (21.5)

(資料:厚生労働省「人口動態統計」、岡山県統計分析課「岡山県毎月流動人口調査」)

<注>旧灘崎町、旧御津町、旧建部町、旧瀬戸町は岡山市に含め、岡山地域には旧賀陽町を含む。

オ 周産期死亡

周産期死亡率(出産千対)



(資料:厚生労働省「人口動態統計」、岡山県統計分析課「岡山県毎月流動人口調査」)

周産期死亡数及び周産期死亡率(出産千対) (単位:人) ()内は率

区分	12年	17年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
岡山市	28 (3.8)	23 (3.5)	26 (3.8)	25 (3.7)	19 (2.9)	28 (4.2)	23 (3.6)	23 (3.6)
岡山地域	6 (6.6)	3 (4.0)	2 (2.7)	1 (1.4)	3 (4.4)	1 (1.6)	1 (1.5)	1 (1.5)
東備地域	4 (4.9)	2 (3.1)	4 (6.5)	3 (4.7)	3 (4.6)	2 (3.3)	1 (1.7)	2 (3.4)
圏域	38 (4.2)	28 (3.5)	32 (3.9)	29 (3.6)	25 (3.1)	31 (3.9)	25 (3.3)	26 (3.4)
岡山県	77 (4.0)	70 (4.2)	59 (3.5)	58 (3.5)	55 (3.4)	56 (3.4)	45 (2.8)	55 (3.5)

(資料:厚生労働省「人口動態統計」、岡山県統計分析課「岡山県毎月流動人口調査」)

<注>旧灘崎町、旧御津町、旧建部町、旧瀬戸町は岡山市に含め、岡山地域には旧賀陽町を含む。

(2) 保健医療資源の状況

① 医療施設

ア 病院

病院施設数及び病床数(各年10月1日現在)

区分		病院施設数						病院病床数						
		総数		(再掲)				総数		一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症病床
				一般病院	精神科病院	一般病床	療養病床							
圏域	平成23	82 (8.9)	75 (8.1)	7 (0.8)	15,088 (4,616.2)	10,034 (1,089.5)	1,625 (176.4)	3,335 (362.1)	86 (9.3)	8 (0.9)				
	24	80 (8.7)	73 (7.9)	7 (0.8)	15,013 (1,629.7)	9,989 (1,064.3)	1,645 (178.6)	3,285 (356.6)	86 (9.3)	8 (0.9)				
	25	80 (8.7)	73 (7.9)	7 (0.8)	14,976 (1,628.3)	9,960 (1,082.9)	1,643 (178.6)	3,279 (356.5)	86 (9.4)	8 (0.9)				
	26	78 (8.5)	71 (7.7)	7 (0.8)	14,855 (1,617.0)	9,850 (1,072.2)	1,654 (180.0)	3,257 (354.5)	86 (9.4)	8 (0.9)				
	27	77 (8.4)	70 (7.6)	7 (0.8)	14,730 (1,597.7)	9,822 (1,065.4)	1,652 (179.2)	3,167 (343.5)	81 (8.8)	8 (0.9)				
岡山県	平成23	174 (9.0)	157 (8.1)	17 (0.9)	29,776 (1,534.1)	18,788 (968.0)	4,906 (252.8)	5,820 (299.8)	236 (12.2)	26 (1.3)				
	24	171 (8.8)	154 (8.0)	17 (0.9)	29,574 (1,527.6)	18,702 (966.0)	4,881 (252.1)	5,749 (297.0)	216 (11.2)	26 (1.3)				
	25	170 (8.8)	153 (7.9)	17 (0.9)	29,378 (1,522.2)	18,555 (961.4)	4,861 (251.9)	5,720 (296.4)	216 (11.2)	26 (1.3)				
	26	167 (8.7)	150 (7.8)	17 (0.9)	29,088 (1,511.9)	18,369 (954.7)	4,854 (252.3)	5,698 (296.2)	141 (7.3)	26 (1.4)				
	27	164 (8.5)	147 (7.7)	17 (0.9)	28,813 (1,499.5)	18,321 (953.5)	4,722 (245.7)	5,608 (291.9)	136 (7.1)	26 (1.4)				

(資料:厚生労働省「医療施設調査」、岡山県統計分析課「岡山県毎月人口流動調査」)

※()内は人口10万対

イ 一般診療所、歯科診療所

一般診療所施設数・病床数及び歯科診療所施設数(各年10月1日現在)

区分	総数	一般診療所数				歯科診療所数	
		施設数		病床数		施設数	
圏域	平成23	853	(92.6)	1,348	(146.4)	537	(58.3)
	24	858	(93.1)	1,334	(144.8)	539	(58.5)
	25	860	(93.5)	1,275	(138.6)	541	(58.8)
	26	868	(94.5)	1,184	(128.9)	531	(57.8)
	27	871	(94.5)	1,165	(126.4)	535	(58.0)
岡山県	平成23	1,622	(83.6)	2,778	(143.1)	1,002	(51.6)
	24	1,631	(84.2)	2,762	(142.7)	1,003	(51.8)
	25	1,638	(84.9)	2,664	(138.0)	1,006	(52.1)
	26	1,653	(85.9)	2,513	(130.6)	990	(51.5)
	27	1,659	(86.3)	2,448	(127.4)	996	(51.8)

(資料:厚生労働省「医療施設調査」、岡山県統計分析課「岡山県毎月人口流動調査」)

※()内は人口10万対

② 保健関係施設

生活習慣病対策や母子保健事業等の一般的な保健サービスは市町が実施し、精神保健や難病等の専門的な保健サービスは保健所が実施しています。

当圏域では、政令市保健所を含めて2保健所1支所があり、市町の保健活動の場である保健センターは、5市2町すべてに整備されています。

③ 保健医療従事者

医師、歯科医師、薬剤師数(各年12月31日現在)(単位:人)

区分			保健医療従事者数					
			医師		歯科医師		薬剤師	
圏域	平成24	岡山市	2,744	(384.9)	932	(130.7)	1,897	(266.1)
		岡山地域	195	(172.5)	74	(65.5)	152	(134.5)
		東備地域	127	(133.5)	54	(56.8)	125	(131.4)
		圏域	3,066	(332.8)	1,060	(115.1)	2,174	(236.0)
	26	岡山市	2,861	(400.1)	934	(130.6)	1,962	(274.4)
		岡山地域	194	(175.6)	75	(67.9)	155	(140.3)
		東備地域	135	(144.4)	54	(57.8)	134	(143.4)
		圏域	3,190	(347.1)	1,063	(115.7)	2,251	(245.0)
岡山県	平成24	—	5,618	(290.2)	1,735	(89.6)	3,777	(195.1)
	26	—	5,760	(299.4)	1,715	(89.1)	3,937	(204.6)

(資料:厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」、岡山県統計分析課「岡山県毎月人口流動調査」)

※()内は人口10万対

保健師、助産師、看護師、准看護師数 (各年12月31日現在)(単位:人)

区分			保健医療従事者数							
			保健師		助産師		看護師		准看護師	
圏域	平成24	岡山市	324	(45.4)	233	(32.7)	8,424	(1,181.3)	1,673	(234.6)
		岡山地域	47	(41.6)	9	(8.0)	914	(808.5)	443	(391.9)
		東備地域	64	(67.3)	5	(5.3)	509	(535.1)	301	(316.4)
		圏域	435	(47.2)	247	(26.8)	9,847	(1,068.9)	2,417	(262.4)
	26	岡山市	310	(43.3)	231	(32.3)	9,145	(1,278.3)	1,514	(211.6)
		岡山地域	56	(50.7)	5	(4.5)	928	(840.0)	471	(426.3)
		東備地域	62	(66.3)	5	(5.3)	551	(589.5)	287	(307.1)
		圏域	428	(46.6)	241	(26.2)	10,624	(1,155.6)	2,272	(247.1)
岡山県	平成24	—	946	(48.9)	468	(24.2)	19,989	(1,032.5)	5,472	(282.6)
	26	—	936	(48.6)	453	(23.5)	20,926	(1,087.6)	5,119	(266.1)

(資料:厚生労働省「衛生行政報告例」、岡山県統計分析課「岡山県毎月人口流動調査」)

※()内は人口10万対

(3) 受療の動向

① 患者数

推計入院患者数

(単位:千人)

区分		総数	二次医療圏内	二次医療圏外		
				総数	県内	県外
圏域	平成23	10.1	9.1	1.0	0.7	0.2
	26	10.2	8.3	1.9	1.2	0.7
岡山県	平成23	22.7	19.2	3.5	2.7	0.8
	26	21.9	18.1	3.8	2.5	1.3

(資料:厚生労働省「患者調査」)

② 受療動向

入院患者の受療動向(一般病床及び療養病床)(平成27年) (単位:%)

受療地	住所地	県南東部			圏域	圏域内医療機関の 圏域患者占有率
		岡山市	岡山地域	東備地域		
県南東部保健医療圏		89.77	89.15	95.21	90.26	84.99
岡山市		85.99	32.50	38.90	69.90	
岡山地域		2.81	56.25	3.86	13.65	
東備地域		0.97	0.40	52.45	6.71	
県南西部保健医療圏		9.09	8.27	3.39	8.27	82.71
高梁・新見保健医療圏		0.04	2.25	0.00	0.48	90.59
真庭保健医療圏		0.08	0.33	0.00	0.12	83.15
津山・英田保健医療圏		1.03	0.00	1.40	0.86	92.79
計		100.00	100.00	100.00	100.00	

(資料:岡山県医療推進課「平成27年患者調査」)

③ 病床利用率・平均在院日数

区分		病床利用率(%)			平均在院日数(日)		
		総数	一般病床	療養病床	総数	一般病床	療養病床
圏域	平成23	73.1	68.4	88.9	31.0	20.4	163.5
	24	72.5	67.8	88.9	30.1	19.7	160.3
	25	70.6	66.1	85.7	29.4	19.3	155.5
	26	74.7	70.7	86.2	28.5	18.6	150.7
	27	69.5	64.7	85.2	27.3	17.9	132.7
岡山県	平成23	76.6	72.8	88.0	30.8	19.5	143.9
	24	76.3	72.4	87.7	30.1	19.1	143.5
	25	75.4	71.7	86.4	29.5	18.7	135.0
	26	69.6	64.9	86.9	28.8	18.2	127.2
	27	74.1	70.0	84.6	27.7	17.6	118.4

(資料:厚生労働省「病院報告」)

2 医療提供体制の構築

(1) 地域医療構想

構想区域別病床数の現況及び推計の比較

(単位:床)

構想区域	区分	平成27年4月1日現在の病床数 [病床機能報告(調整後)]			必要病床数 [地域医療構想策定支援ツールから]			②-①	②/①
		病院	診療所	合計 ①	H25(2013)	H37(2025)	H52(2040)		
					②	③			
県南東部	高度急性期	2,385		2,385	1,125	1,187	1,146	▲ 1,198	49.8%
	急性期	4,168	556	4,724	2,968	3,335	3,318	▲ 1,389	70.6%
	回復期	1,006	123	1,129	2,500	2,927	2,969	▲ 1,798	259.3%
	慢性期	2,365	290	2,655	2,163	2,029	2,052	▲ 626	76.4%
	無回答	258	230	488				▲ 488	0.0%
	計	10,182	1,199	11,381	8,756	9,478	9,485	▲ 1,903	83.3%
岡山県	高度急性期	4,844	17	4,861	2,169	2,249	2,131	▲ 2,612	46.3%
	急性期	8,244	1,182	9,426	6,155	6,838	6,679	▲ 2,588	72.5%
	回復期	2,383	223	2,606	5,599	6,480	6,445	▲ 3,874	248.7%
	慢性期	5,710	523	6,233	5,263	4,607	4,617	▲ 1,626	73.9%
	無回答	572	522	1,094				▲ 1,094	0.0%
	計	21,753	2,467	24,220	19,186	20,174	19,872	▲ 4,046	83.3%

県南東部	ハンセン病療養所の病床	1,325		1,325					
------	-------------	-------	--	-------	--	--	--	--	--

合計		23,078	2,467	25,545	19,186	20,174	19,872		
----	--	--------	-------	--------	--------	--------	--------	--	--

※1 平成27年4月1日現在の病床数は、許可病床数の数値に合わせるため、平成26年7月1日現在の病床機能報告の数値をもとに、県において調整した数値である。

2 H25(2013)、H37(2025)及びH52(2040)の数値は、厚生労働省配付の地域医療構想策定支援ツールの医療機関所在地別、パターンBによる数値である。

3 ハンセン病療養所の病床は、医療保険適用分以外は推計の対象外とされている。

(資料:岡山県医療推進課)

構想区域における将来の居宅等における医療の必要量

(単位:人/日)

構想区域	区分	医療需要 [地域医療構想策定支援ツールから]			②-①	②/①
		H25(2013)①	H37(2025)②	H52(2040)		
		県南東部	在宅医療等※1	10,151		
	(再掲)在宅医療等のうち訪問診療分	6,340	8,317	9,024	1,977	131.2%
	高度急性期	844	890	860	46	105.5%
	急性期	2,315	2,601	2,588	286	112.4%
	回復期	2,250	2,634	2,672	384	117.1%
	慢性期	1,990	1,867	1,888	▲ 123	93.8%
	計	17,550	21,684	22,811	4,134	123.6%

(資料:地域医療構想策定支援ツール)

※1 在宅医療等とは、居宅、特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホーム、介護老人保健施設、その他医療を受ける者が療養生活を営むことができる場所であって、病院・診療所以外の場所において提供される医療を指します。

【施策の方向及び進捗状況】

項目	施策の方向	進捗状況
医療機関の役割分担と連携	○圏内の医療機関相互の協議の場において、毎年度の病床機能報告等の情報を関係者で共有し、PDCAサイクルを効果的に機能させながら、医療機関の役割分担と連携を支援します。	○県南東部地域医療構想調整会議を設置し、病床機能報告等について協議を行い、地域の医療機関の機能分化や連携について検討を行っています。

○県南東部地域医療構想調整会議

構成員：医師会、病院協会、歯科医師会、薬剤師会、看護関係者、介護関係者、医療保険者、市町村の代表者、医療を受ける立場にある者、学識経験者 42名

開催日：平成28年8月18日（木）14:00～16:00

場 所：メルパルク岡山

参加者：53名（委員42名、傍聴者3名、事務局8名）

内 容：病床機能報告等医療提供体制の現状について
地域医療介護確保基金について

主な意見等

- ・地域医療連携推進法人※2の現状や方向性を把握しておく必要がある。
- ・圏域では、急性期病床が多く、回復期病床が不足することが懸念される。急性期病院でも地域包括ケア病床を設ける等、一部回復期を担う体制が必要である。
- ・地域医療構想の実現には、在宅医療の提供体制の整備が重要である。
- ・今後利用予定のない病床は整理を検討する等、稼働状況の精査が必要である。
- ・看護職員等、医療従事者の確保と質の向上対策も重要課題である。
- ・患者の医療に対する意思決定について、判断できる知識の普及が大切である。

※2 地域医療連携推進法人：医療機関相互間の機能の分担及び業務の連携を推進し、地域医療構想を達成するために新たに創設された法人です。複数の病院（医療法人等）を統括し、一体的な経営を行うことにより、経営効率の向上を図るとともに、地域医療・地域包括ケア※3の充実を推進することを目指します。医療法の改正により新たに創設され、平成29年4月から施行されます。

※3 地域包括ケアシステム：高齢者が、住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制をいいます。

(2) 5疾病・5事業及び在宅医療の医療連携体制

①がん

【施策の方向及び進捗状況】

項目	施策の方向	進捗状況
がんの予防	<p>○あらゆる機会を通じてがんの予防に関する正しい知識の普及や、生活習慣とがんとの関連等について啓発を図り、がんの予防対策を推進します。また、健康づくりボランティア組織である愛育委員会・栄養改善協議会と協働で、生活習慣の改善を中心とした健康づくりを推進します。</p>	<p>○愛育委員会、栄養改善協議会と協働し、研修会の開催や受け持ち世帯への声かけ訪問受診勧奨を通じ、がんの予防、早期発見普及啓発に努めています。 特に、がん制圧月間には関係者が連携して市町を挙げて普及啓発に取り組んでいます。</p>
がんの早期発見	<p>○がんの早期発見・早期治療に結びつくよう、市町や関係団体とともに、総合検診方式の導入等によるがん検診の受診率向上及び事後指導の充実に努めます。 ○特に、女性のがん検診受診率向上に愛育委員会と連携して取り組みます。 ○肝炎の医療連携を推進し、肝がんを早期発見できる体制の構築に努めます。</p>	<p>○全国健康保険組合や JA 厚生連と連携し、特定健診とがん検診の同時実施による受診率の向上に努めています。 ○日曜健診、節日健診等働く世代が受診しやすい環境作りに取り組んでいます。 ○女性のがん検診では保育園幼稚園の保護者への PR や愛育委員会と連携した託児の実施や、乳がん出前講座など知識の普及に取り組んでいます。 ○精密検診受診率の向上、施策改正による検診体制整備等市町への情報交換・研修の場を通じ精度管理に取り組んでいます。 ○肝炎医療従事者研修会を関係機関に周知する等により、体制の構築に努めています。</p>
がんの診断・治療に関する医療水準の向上	<p>○「県がん診療連携拠点病院」を中心に当圏域の「がん診療連携拠点病院」「がん診療連携推進病院」が地域連携クリティカルパス※1の活用促進を図り、医療機関相互の連携体制づくりを推進します。 ○医師会等関係機関が相互に連携し、地域の特性に応じた在宅緩和ケア体制の整備について検討し、患者が在宅で療養できる環境を整備します。</p>	<p>○「がん診療連携拠点病院」を中心に地域連携クリティカルパスの利用促進やがん治療の水準向上を目的に研修会が開催されています。 ○市町村ごとの地域支援事業における在宅医療・介護連携推進事業の取組の中で、在宅緩和ケア、リビングウイール※2などの話し合いに取り組んでいます。</p>
患者・家族への支援	<p>○関係機関はがんに関する相談、支援を行うとともに、がん診療連携拠点病院に設置されている「がん相談支援センター」の活用や、「岡山がんサポート情報」により情報提供を行います。</p>	<p>○岡山県ホームページの「岡山県がん患者支援情報提供サイト」により、がん患者団体の紹介や団体の研修会などの情報提供を行いました。</p>

※1 地域連携クリティカルパス：がん診療連携拠点病院と地域の医療機関が連携しながら作成する、がん患者に対する治療の全体像を体系化した「がん治療連携計画書」です。

※2 リビングウィル：自分で意思決定や表明ができない状態になったときに受ける医療について、あらかじめ要望を明記しておくことです。

ア がん検診受診率

①胃がん (単位：%)

	平成25年度	平成26年度
岡山市	15.0	14.3
岡山地域	16.8	15.4
玉野市	13.7	12.3
瀬戸内市	22.2	21.4
吉備中央町	14.7	12.4
東備地域	15.6	15.4
備前市	14.4	18.1
赤磐市	16.6	13.0
和気町	15.9	15.3
圏域	15.3	14.7
岡山県	15.2	14.2

②肺がん (単位：%)

	平成25年度	平成26年度
岡山市	24.0	23.5
岡山地域	33.7	31.2
玉野市	34.5	30.7
瀬戸内市	34.2	33.7
吉備中央町	28.2	26.1
東備地域	35.2	32.6
備前市	32.0	31.0
赤磐市	37.0	33.3
和気町	37.2	34.3
圏域	26.6	25.5
岡山県	26.1	26.0

(資料：厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」)(資料：厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」)

③大腸がん (単位：%)

	平成25年度	平成26年度
岡山市	17.5	17.5
岡山地域	25.4	24.1
玉野市	24.5	22.7
瀬戸内市	27.6	27.1
吉備中央町	22.3	21.8
東備地域	25.8	26.6
備前市	27.8	28.2
赤磐市	23.6	22.2
和気町	27.2	27.1
圏域	18.2	18.9
岡山県	21.3	20.8

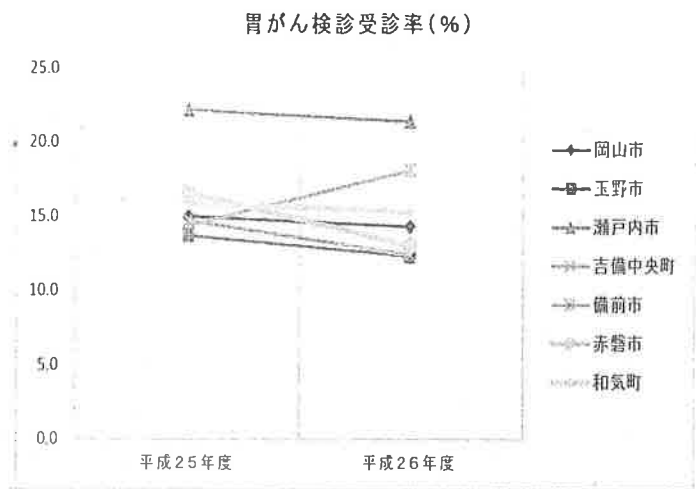
④乳がん (単位：%)

	平成25年度	平成26年度
岡山市	17.5	17.5
岡山地域	25.4	24.1
玉野市	24.5	22.7
瀬戸内市	27.6	27.1
吉備中央町	22.3	21.8
東備地域	25.8	26.6
備前市	27.8	28.2
赤磐市	23.6	22.2
和気町	27.2	27.1
圏域	18.2	18.9
岡山県	21.3	20.8

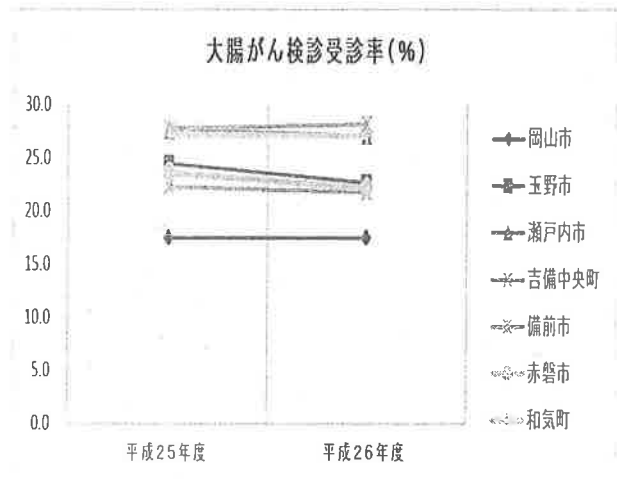
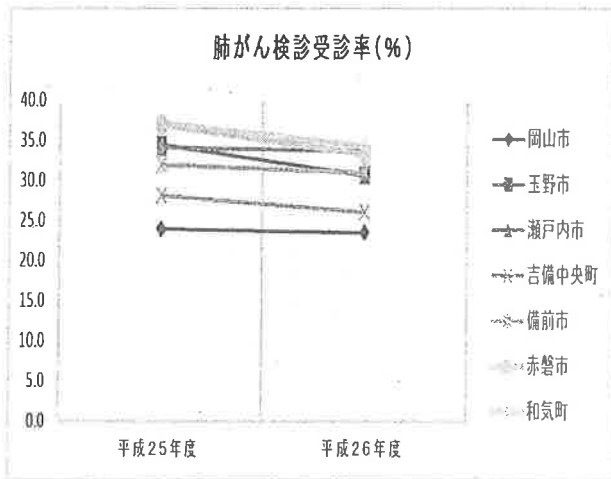
(資料：厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」)(資料：厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」)

⑤子宮がん (単位:%)

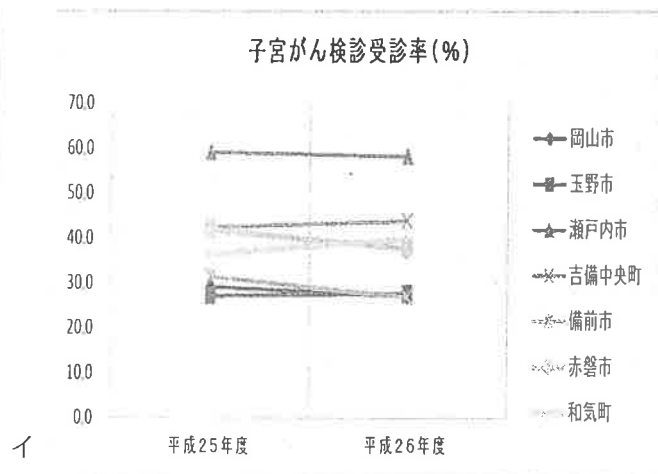
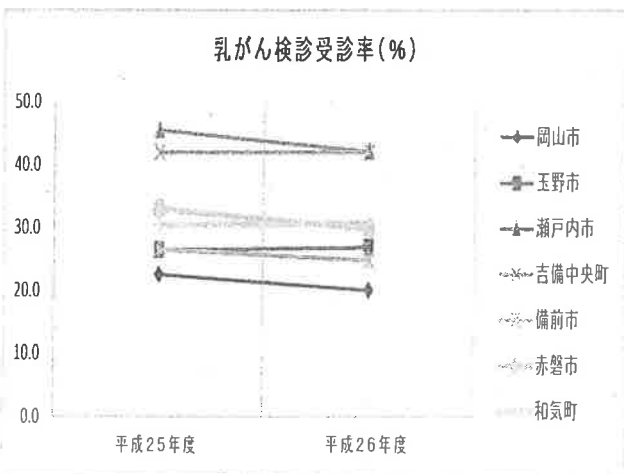
	平成25年度	平成26年度
岡山市	29.2	27.1
岡山地域	39.3	39.3
玉野市	27.2	27.7
瀬戸内市	59.2	58.2
吉備中央町	42.5	43.8
東備地域	36.9	33.8
備前市	31.4	26.9
赤磐市	41.8	37.7
和気町	36.5	39.9
圏域	31.1	28.9
岡山県	34.4	33.2



(資料:厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」)(資料:厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」)



(資料:厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」)(資料:厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」)



(資料:厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」)(資料:厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」)

イ がん検診精密検査受診率

①胃がん

	平成25年度	平成26年度
岡山市	69.5	82.0
玉野市	82.8	86.1
瀬戸内市	80.7	86.5
吉備中央町	94.4	96.9
備前市	90.7	95.6
赤磐市	86.1	79.0
和気町	83.3	96.7
圏域	73.6	79.2
岡山県	80.9	83.5

②肺がん

	平成25年度	平成26年度
岡山市	59.5	73.8
玉野市	89.9	89.8
瀬戸内市	83.7	90.9
吉備中央町	94.7	90.3
備前市	96.7	87.0
赤磐市	80.0	100.0
和気町	77.4	87.5
圏域	64.2	75.8
岡山県	72.5	78.4

(資料:厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」)(資料:厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」)

③大腸がん

	平成25年度	平成26年度
岡山市	51.5	51.8
玉野市	84.6	85.7
瀬戸内市	69.4	78.6
吉備中央町	68.1	72.4
備前市	81.1	74.6
赤磐市	83.8	76.3
和気町	84.7	87.7
圏域	57.5	57.7
岡山県	65.3	65.3

④乳がん

	平成25年度	平成26年度
岡山市	88.9	87.3
玉野市	96.9	94.8
瀬戸内市	94.2	90.7
吉備中央町	100.0	100.0
備前市	100.0	95.3
赤磐市	98.6	100.0
和気町	100.0	100.0
圏域	90.6	89.3
岡山県	89.4	90.8

(資料:厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」)(資料:厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」)

⑤子宮がん

	平成25年度	平成26年度
岡山市	52.2	47.2
玉野市	88.9	92.3
瀬戸内市	84.1	73.1
吉備中央町	100.0	100.0
備前市	64.3	87.5
赤磐市	85.7	94.4
和気町	100.0	100.0
圏域	60.1	52.5
岡山県	72.5	66.7

(資料:厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」)

② 脳卒中

【施策の方向及び進捗状況】

項目	施策の方向	進捗状況
脳卒中の予防	<p>○県民が高血圧症、糖尿病、脂質異常症等の生活習慣病に関する正しい知識を持つよう、生活習慣の改善に関する知識の普及啓発を行い、脳卒中の発症予防を図ります。また、愛育委員会や栄養改善協議会と協働で健康づくりを推進します。</p>	<p>○働く世代からの健康づくりをすすめるため地域職域連携会議を開催し、特定健診保健指導や健康づくりの取組について情報交換の場を持ち、市町が効果的な取組ができるよう支援しています。</p> <p>○市町を中心に、愛育委員会では健診の受診勧奨や、栄養改善協議会では減塩普及活動やバランスのとれた食生活の普及で、高血圧対策に努めています。</p>
救護・救急体制の充実	<p>○市町や健康づくりボランティアと連携し、広報誌や講演会等により、本人や家族等周囲にいる者が、早く脳卒中の症状に気づき受診につながるよう、啓発に取り組みます。</p> <p>○「もも脳ネット」※1等の検討の場で、急性期医療機関間の連携について協議し、発症後4.5時間以内のt-PA※2静脈内投与による血栓溶解療法など、迅速かつ適切な治療開始体制を確保します。</p>	<p>○脳卒中月間など、市町や健康づくりボランティアと連携し、理事会や研修会における話題提供などから啓発運動に取り組んでいるところです。</p> <p>○県南東部圏域脳卒中医療連携実務者会議を開催し、急性期医療機関と消防署(救急)、保健行政とで脳卒中救急搬送の現状と課題今後の取組について協議を行っています。t-PAの実施件数は増加傾向で、応需率も増加しています。</p>
医療提供体制の整備	<p>○脳卒中の急性期から回復期、維持期、在宅療養のそれぞれの過程に応じて治療等の診療情報を共有しながら対応できるよう、「もも脳ネット」と連携し、地域連携クリティカルパスの活用を進めます。</p> <p>○医師会等と連携し、地域特性に応じた在宅医療連携について検討し、脳卒中在宅パスを活用し、在宅の脳卒中患者が必要に応じて福祉サービスや歯科医療等のサービスが受けられるようにします。</p>	<p>○「もも脳ネット」や岡山県介護支援専門員協会の協力により、県南東部医療圏で各病院の医療連携窓口や入退院支援ルールが明確になりつつあります。東備地域ではすでに入退院支援ルールができ、必要に応じた支援が進められています。</p> <p>○「もも脳ネット」と連携した研修会や会議を通じ急性期と回復期・維持期や在宅の中心となる医師会との連携が積極的に検討されています。</p>

※1 もも脳ネット：地域医療連携が継ぎ目なく円滑に行われ、良質の医療を提供することを目的に設立された会です。

※2 t-PA療法(血栓溶解療法・静脈内投与)：脳梗塞の特徴である脳の血栓(血のかたまり)を溶かす療法で、t-PA療法の適応判定をした上で、発症から4.5時間以内に静脈注射をすることにより、脳の血流を再開させ、脳細胞の壊死を防ぐ治療です。

ア 圏域の脳卒中の医療連携体制を担う医療機関

(平成28年11月1日)

	急性期			回復期	維持期	
	A	B	C		療養病床を有する施設	在宅医療
圏域	9	1	8	19	25	18
岡山県	14	4	13	49	80	58

(資料：岡山県医療推進課「脳卒中の医療連携体制を担う医療機関届」)

注)

急性期A：超急性期の専門的な診療が24時間可能な医療機関

急性期B：専門的な診療が24時間可能な医療機関

急性期C：専門的な診療が診療時間内に可能な医療機関

イ 脳卒中医療連携普及推進事業

年度	平成28年度
実務者会議	8回
普及啓発	多職種連携強化のための研修会 2回

(資料：備前保健所「業務概要報告書」)

③ 急性心筋梗塞

【施策の方向及び進捗状況】

項目	施策の方向	進捗状況
急性心筋梗塞の予防	○生活習慣病に関する正しい知識を持つよう、生活習慣の改善に関する普及啓発を行います。また、愛育委員会・栄養改善協議会と協働し、健康づくりを推進します。	○生活習慣病に関する正しい知識を持つよう、生活習慣の改善に関する普及啓発を市町を中心に、特定健診受診勧奨や、特定保健指導、結果説明会、健康相談、健康教室等で行っています。 ○愛育委員会の声かけ運動や研修会を通じ生活習慣病に関する正しい知識の普及に努めています。 ○栄養改善協議会や栄養教室でメタボリックシンドロームの予防やバランスのとれた食生活などについて、研修や料理講習を行い、地域へ委員が普及しています。
救護・救急体制の充実	○AED設置箇所の増加と蘇生法の普及啓発を進めます。	○AED設置箇所の普及や救急蘇生法講習の実施が市町を中心に行われています。
医療提供体制の整備	○県南東部地域医療連携推進会議等により、急性期医療機関・回復期医療機関・かかりつけ医の医療連携の推進を図ります。 ○県南東部メディカルコントロール協議会の活動を通じて、特定行為等による救命蘇生の適切な実施、急性期医療機関への迅速な搬送等により、当圏域における救急医療体制の整備を推進します。	○県南東部地域医療連携推進協議会を開催し、急性期病院とかかりつけ医療機関の連携体制について協議をしているところです。 また、岡山心臓リハビリテーション研究会幹事病院への委託事業による多職種連携研修会を通じ、連携の強化が図れるように取り組んでいます。 ○県南東部メディカルコントロール協議会と連携し、特定行為等による救命蘇生の適切な実施、急性期医療機関への迅速な搬送等により、当圏域における救急医療体制整備等を検討しています。

ア 公的施設のAED設置数 (単位:台)

	平成26年度	平成27年度
岡山市	277	399
管内	237	253

(資料:備前保健所調査)

イ 圏域の急性心筋梗塞の医療連携体制を担う医療機関数(平成28年10月15日現在)

	急性期	回復期	再発予防
圏域	8	10	27
岡山県	11	15	55

(資料:岡山県医療推進課「急性心筋梗塞の医療連携体制を担う医療機関届」)

ウ 急性心筋梗塞地域連携推進事業

	平成28年度
実務者会議	4回
普及啓発	地域連携を推進するための多職種連携研修会 4回

(資料:備前保健所調査)

④ 糖尿病

【施策の方向及び進捗状況】

項目	施策の方向	進捗状況
予防・早期発見	<ul style="list-style-type: none"> ○愛育委員会・栄養改善協議会や健康おかやま21推進団体等と協働して、糖尿病の危険因子や初期症状、合併症、予防の必要性について県民に対し広く啓発し、予防と早期発見に努めます。 ○地域・職域保健連携推進協議会の開催等により、特定健康診査の受診率向上に取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○市町を中心に、糖尿病の早期発見のために愛育委員による健診の受診勧奨や栄養委員によるバランスのとれた食生活の普及を行っています。 ○若い世代からの生活習慣病予防のために、地域・職域保健連携推進協議会を開催し、健診受診率の向上や糖尿病の重症化予防等の情報交換を行っています。また、各市町のデータヘルス計画が推進されるよう、ヒアリングを行い課題を整理するなど市町支援を行っています。
地域における医療連携体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○医師会等と連携し、地域連携に参画する初期・安定期治療等の医療機関を増やすとともに、地域連携クリティカルパスの活用により、予防・治療の各ステージに応じた治療及び栄養や運動指導等が効果的になされるよう、医療連携体制の構築を図ります。 ○県民に良質かつ適切な医療を効率的に提供し、糖尿病の自己管理による生活の質の確保・向上を図るために、岡山県栄養士会等と連携し、入院時から在宅に至る地域一体型のシームレスな糖尿病の栄養管理支援体制の構築を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○岡山県栄養士会へ事業を委託し、在宅で訪問栄養指導を行う栄養士の人材育成のための研修会の開催や、栄養士が診療所等と連携し栄養指導が実施できる体制づくりを促しています。 ○予防・治療の各ステージに応じた治療や栄養、運動指導等が効果的に受けられるために、医師会や専門医療機関、総合管理医との連携体制づくりに努めています。今後、モデル地区を設けた取組を予定しています。
糖尿病医科歯科医療連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○市町と連携し、県民に対して糖尿病と歯周疾患の関係について啓発します。 ○県南東部地域医療連携推進会議等を通じて、糖尿病の医科歯科連携を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各市町で開催している医療と介護の連携会議や研修会の場に医師、歯科医師が参加し、普及啓発を行っています。 ○県南東部地域医療連携推進会議等を通じて、医科歯科連携について協議しています。

ア 圏域の糖尿病の医療連携体制

(平成28年3月31日現在)

	総合管理	専門治療	慢性合併症					急性増悪時治療
			糖尿病性網膜症	糖尿病腎症	糖尿病神経障害	動脈硬化疾患	歯周病	
圏域	123	15	17	11	21	10	180	11
岡山県	297	29	30	25	35	16	362	19

(資料:岡山県医療推進課「糖尿病の医療連携体制を担う医療機関の一覧」)

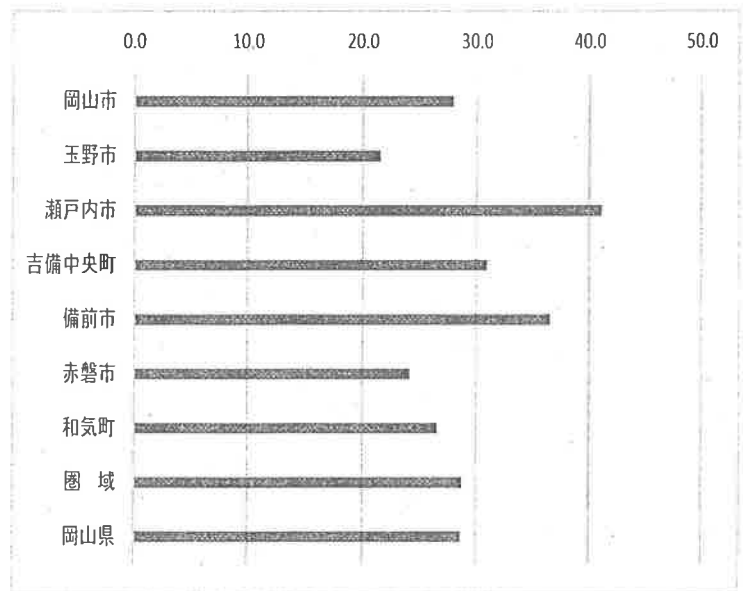
イ 糖尿病等栄養管理連携システム活用推進事業

	平成28年度
実務者会議	3回
人材育成のための研修会	3回
栄養管理指導	医院で実施

(資料:備前保健所資料)

ウ 特定健診受診率 (単位:%)

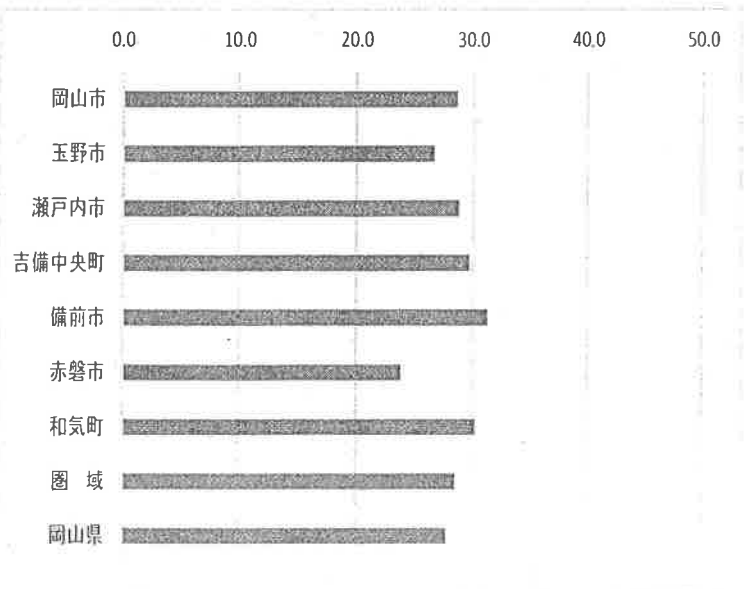
	平成27年度
岡山市	28.0
玉野市	21.6
瀬戸内市	41.2
吉備中央町	31.0
備前市	36.6
赤磐市	24.2
和気町	26.6
圏域	28.3
岡山県	28.7



(資料:国民健康保険中央会特定健康診査等実施状況データ一)

エ 内臓脂肪症候群該当者と予備軍の割合(単位:%)

	平成27年度
岡山市	28.7
玉野市	26.7
瀬戸内市	28.9
吉備中央町	29.8
備前市	31.4
赤磐市	23.9
和気町	30.3
圏域	28.6
岡山県	27.9



(資料:国民健康保険中央会特定健康診査等実施状況データ一)

⑤ 精神疾患

【施策の方向及び進捗状況】

項目	施策の方向	進捗状況
精神疾患の予防早期対応	<ul style="list-style-type: none"> ○心の健康づくり県民講座等を通じて、心の健康、自殺予防に関する啓発や精神障害に対する心のバリアフリー（偏見の解消）を推進します。 ○自死遺族の集いや、市町における精神保健福祉相談等を実施し、地域相談支援体制を充実します。 ○平成22年度に実施した「高齢者のこころの健康に関する調査」の結果を基に、吉備中央町で取り組んだ地域自殺対策緊急強化事業の取組を踏まえ、健康づくりボランティア等と連携し高齢者ソーシャルサポート体制を構築します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○心の健康づくり、自殺予防、アルコール関係問題に関する啓発や精神障害に対するバリアフリーを研修会等を通じて推進しています。 ○自死遺族の集いや、市町における精神保健福祉相談を実施し、相談体制づくりに努めています。 ○愛育委員会、栄養改善協議会、民生委員会、老人クラブ等と連携し、地域での声かけや各組織の事業を協働すること等を通じて地域で高齢者が支え合うネットワークづくりに努めています。
患者・家族への支援	<ul style="list-style-type: none"> ○精神科病院の長期入院患者について、病院、市町や地域活動支援センター等の関係機関と連携したネットワークづくり等の支援体制の整備を行い、地域生活への移行に向けた取組を進めます。 ○未治療、治療中断者については、関係機関と連携しアウトリーチ事業等の活用により、積極的に支援を行うとともに、精神障害が疑われる通報に対しては、人権に配慮しながら迅速・適正に対応します。 ○市町や地域活動支援センター等とも連携し、患者会や家族会の交流事業を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ○病院、市町、地域活動支援センター等と連絡会議や事例検討を行うことにより地域生活への移行に向けた取り組みを進めています。 ○未治療、治療中断者については、市町や精神保健福祉センター等と連携しながら、医師を含めた多職種チームによる訪問支援等、地域生活が維持できるよう支援に努めています。 また、法に基づく通報事例等については、早期に適切な支援を行うとともに、支援が途切れることがないように、関係機関との連携強化を図っています。 ○関係機関と連携し、地域のピアサポーター※と交流を図る等、患者会や家族会の支援をしています。
救急体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○精神科疾患と身体科疾患を合併した救急患者に適切に対応するため、県南東部圏域救急医療体制推進協議会において、精神科医療機関と連携し、24時間365日、精神科疾患と身体科疾患を合併した患者に対応するシステムの構築に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○岡山県精神科救急情報センターによる、救急隊や身体科救急病院からの精神科かかりつけ医に対する照会や、対応に係る相談体制ができ円滑な連携を推進しています。

※ ピアサポーター：同じ経験や課題を持つ仲間(ピア＝仲間)のことで、ここでは精神障害のある当事者のことです。

ア 精神障害者保健福祉手帳の交付(単位：件)

	平成27年度
岡山市	4,852
玉野市	376
瀬戸内市	191
吉備中央町	57
備前市	195
赤磐市	230
和気町	70

(資料：岡山市、備前保健所「業務概要報告書」)

イ 自死遺族の集い

		平成27年度
回数	岡山市	年12回
	管内	年6回
参加人数	岡山市	延14人
	管内	延31人

(資料：岡山市、備前保健所「業務概要報告書」)

ウ 自殺死亡率 ※人口10万対

	平成27年
圏域	22.2
岡山県	18.0

(資料：岡山市、備前保健所「業務概要報告書」)

⑥ 救急医療
 県南東部保健医療圏域における救急医療体制(平成28年4月1日現在)

救急告示医療機関	(37施設)	休日	夜間
休日夜間急患センター (岡山市休日夜間急患診療所)	(1カ所)	○	△
在宅当番医	(10医師会)	○	△
休日歯科診療所	(1カ所)	○	—
病院群輪番制病院	(6施設)	○	○
協力病院当番制病院	(27施設)	○	—
救命救急センター	(2カ所)	○	○

(資料:岡山県医療推進課) ※△は準夜間帯まで。

【施策の方向及び進捗状況】

項目	施策の方向	進捗状況
救急医療機関での受診	○市町及び愛育委員会や栄養改善協議会等の関係団体と連携し、県民に対して、適切な救急医療機関での受診についての普及啓発を図ります。	○市町及び関係団体と連携し、県民に対して、適切な救急医療機関での受診について普及啓発に努めています。
二次、三次救急医療体制	○県南東部圏域救急医療体制推進協議会において、救急搬送等救急医療体制の在り方や充実策について検討するとともに、県民に対して救急医療について啓発をします。	○県南東部圏域救急医療体制推進協議会において、救急搬送等の現状や課題、救急医療体制の在り方等の協議をしています。 #8000※の利用状況は県下で最も多くなっていますが、適正な受診ができるよう引き続き普及啓発に努めます。
救急救命士の養成	○県南東部メディカルコントロール協議会と連携し、救急救命士や指導救命士の養成に努めます。	○県南東部メディカルコントロール協議会と連携し、救急救命士の認定に関する現状と課題や新処置拡大の実施状況等の共有を図っています。
救急搬送	○災害・救急医療情報システムの活用等による医療機関の情報共有化を図り、極的な活用に向けた調整を行う等、救急搬送体制の充実を図ります。	○災害時、医療機関の稼働状況等災害医療に関する情報を迅速に把握し、適切な医療救護体制を推進するため、関係機のシステム活用訓練への参加勧奨を行っています。

※ #8000:子育て中の保護者の不安解消と緊急性のない救急医療の受診防止のために設置された電話相談窓口です。

⑦ 災害時における医療

【施策の方向及び進捗状況】

項目	施策の方向	進捗状況
関係団体との連携及び医療情報の収集	<ul style="list-style-type: none"> ○災害発生時に、迅速かつ的確な医療支援が行えるよう、県南東部圏域救急医療体制推進協議会等において、災害拠点病院はもとより、医師会や医療機関等との連携体制を構築します。 ○災害拠点病院や救急医療施設等と連携し、災害や医療情報の収集、提供を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ○災害発生時に、迅速かつ的確な医療支援が行えるよう、本庁と連携を図りながら、災害拠点病院や医師会や医療機関との連携を図っています。
	<ul style="list-style-type: none"> ○市町と連携し、災害時要援護者に対する医療支援体制の整備を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○市町と連携し、難病等災害時要援護者に対する支援シートの作成を通じて医療支援体制の整備に努めています。
災害時の医療体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○市町と医師会との災害時の医療救護活動に関する協定等、災害時における医療救護体制の確保を図ります。 ○当圏域の災害時に災害派遣医療チーム(DMAT)※や医療救護班が災害早期から円滑な対応ができるよう、医師会等との連携強化を図ります。 ○精神保健福祉センターや精神科医会等と連携し、被災者に対するメンタルヘルスケアを実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○市町と情報共有し、災害時における医療体制の確保に努めています。 ○岡山県災害拠点病院連絡協議会や災害拠点病院医療救護要員研修会、岡山県災害医療コーディネーター研修会等に参加し、連携強化を図っています。
災害医療に関わる保健所機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○災害時に適切な対応ができるよう、研修等により職員の資質向上に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○災害医療情報システムの活用訓練に参加する等職員の資質向上に努めています。

※ 災害派遣医療チーム(DMAT)：災害発生後の急性期(概ね48時間以内)に活動できる機動性を持った、救急治療を行うための専門的な訓練を受けた医療従事者で編成しているチームです。県内では、全ての災害拠点病院がDMATを保有しています。

⑧ へき地の医療

【施策の方向及び進捗状況】

項目	施策の方向	進捗状況
へき地における診療機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○市町、へき地医療拠点病院等と連携し、へき地医療の確保に努めます。 ○へき地の高齢者の急変等に対応するため、かかりつけ医や地域の救急医療機関等との連携を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○市町等と連携を図り、関係機関と連携に努めています。

⑨ 周産期医療

【施策の方向及び進捗状況】

項目	施策の方向	進捗状況
ハイリスク妊産婦・新生児への支援	○周産期医療機関や市町と連携し、ハイリスク妊産婦、新生児への支援が効果的に行えるよう体制整備を図ります。	○岡山市と協働で、妊娠期からの保健医療連携会議や研修会を開催し、ハイリスク妊婦の切れ目のない支援体制について現状と課題の共有や顔の見える関係づくりに取り組んでいます。 ハイリスク妊産婦連絡票等の活用は年々増加傾向です。 ○市町は、妊娠届出時の面接から、関係する産科医療機関との話し合いや連携に取り組んでいます。 ○子育て世代包括支援センター(母子保健型)が2市で設置され、切れ目のない支援体制づくりに取り組まれています。

ア 周産期死亡率 (出産千対)

	平成27年
岡山市	3.6
岡山地域	1.5
東備地域	3.4
岡山県	3.5

(資料:厚生労働省「人口動態統計」)

イ 妊娠届出週数の状況(妊娠11週までに届け出を行った妊婦の割合) (単位:%)

	平成27年度
岡山市	94.4
岡山地域	91.6
東備地域	94.5
岡山県	94.0

(資料:岡山県健康推進課「岡山県の母子保健」)

ウ 母子保健関係者研修会

	平成27年度	平成28年度
実施回数	6回	1回
延参加者数	47人	30人
内容	・講演 ・事例提供 ・グループワーク	・講演、演習 「子ども虐待と個人情報保護」

(資料:備前保健所業務概要報告)

エ ハイリスク妊産婦連絡票及び妊娠中からの気になる母子支援連絡票受付件数

	平成27年度		
	ハイリスク連絡票	気になる母子支援連絡票	計
岡山市	357	12	369
岡山地域	38	25	63
東備地域	31	17	48
圏域	426	54	480

(資料:備前保健所資料)

⑩ 小児医療(小児救急医療を含む)

【施策の方向及び進捗状況】

項目	施策の方向	進捗状況
小児(救急)患者の症状に応じた救急医療受診体制の確保	○市町や保育所、幼稚園及び愛育委員会や栄養改善協議会と連携して、小児救急医療電話相談事業の活用等小児救急についての普及啓発を進めます。	○小児救急医療電話相談のリーフレットを各市町の乳幼児健診等で普及啓発を行っています。 ○愛育委員会等において情報提供を行い、地域の声かけ活動での普及啓発を行っています。
小児(救急)医療体制の充実	○県南東部圏域救急医療体制推進協議会において小児救急医療の現状や課題について共有を図り、小児救急医療の充実を支援します。	○県南東部圏域救急医療体制推進協議会において、経年的な小児救急搬送人員の状況等、小児医療救急の現状の共有を図ると共に、引き続き、適正受診について周知していきます。

小児救急医療電話相談件数(#8000)

(単位:件数)()内は年少人口千対

	平成27年度
圏域	8,101 (66.96)
岡山県	16378 (64.21)

(資料:岡山県医療推進課)

⑪ 在宅医療

【施策の方向及び進捗状況】

項目	施策の方向	進捗状況
地域連携の推進	<p>○急性期～回復期・維持期～在宅の医療連携体制の充実を図ります。特に、入退院時のルールづくりや、在宅パスの活用が図られるよう普及に努め、地域連携を推進し、在宅ケアの充実に努めます。</p> <p>○地域包括支援センターとともに訪問看護ステーションの役割・機能の充実を図ります。</p>	<p>○県南東部地域医療連携推進会議を通じて、圏域内の医師会、行政機関、介護関係機関等が連携し、在宅医療推進のための広域的な課題を検討しています。</p> <p>また、草の根事業※1を通じ、在宅シート※2の利用促進や、入退院時の連絡調整窓口の共有や、もも脳ネットの研修会を通じ急性期～回復期～維持期の各施設の連携体制について共有を図っています。</p>
在宅医療の推進	<p>○県南東部地域医療連携推進会議や研修会等により、医師会等関係団体や市町と協働し、在宅医療の推進を図ります。</p> <p>○市町が地域包括ケアシステムの構築のため医師会等と連携して取り組む「在宅医療・介護連携推進事業」の支援を行います。</p>	<p>○平成28年度からは介護保険事業の中で医療と介護の連携が図られ、保健・福祉・医療関係者の研修会や検討会を行っています。</p>
在宅歯科診療連携体制の整備	<p>○医師会等と連携し、5疾病の地域連携を推進するとともに、歯科医師会と連携し、訪問歯科診療を実施する歯科診療所の充実に努め、在宅での連携体制の整備を図ります。</p>	<p>○県南東部医療連携推進協議会に歯科医師も参画し在宅の医科歯科連携の課題について検討しています。</p> <p>また、もも脳ネットの研修会でも訪問歯科診療所等の効果的な取組の共有を図っています。</p> <p>○市町の在宅医療連携会議・研修会には歯科医師も参画しています。</p>
薬剤師による訪問薬剤管理指導の推進	<p>○5疾病の地域連携の推進を通じて、訪問薬剤管理指導の推進を図ります。</p>	<p>○県南東部医療連携推進協議会や市町の在宅医療介護連携会議に薬剤師も参画し在宅の医科歯科連携の課題を検討しています。</p> <p>各市町の在宅医療連携会議では、服薬管理などが課題となり、連携のあり方について協議をしています。</p>

※1 草の根事業:「医療と介護の連携促進のための草の根事業」。岡山県介護支援専門員協議会が各病院の入退院支援ルールの把握や検討会、研修会を行っています。

※2 在宅支援シート:多職種が連携し、在宅において個別支援をする時の情報共有シートです。

ア-1 在宅支援診療所等の数

(29年1月1日現在)

	在宅療養 支援病院	在宅療養 支援診療所	在宅療養 支援歯科 診療所	訪問薬剤 指導 薬局数
岡山市	10	163	71	322
玉野市	0	8	2	27
瀬戸内市	0	10	4	12
吉備中央町	0	3	0	2
備前市	1	3	4	6
赤磐市	0	6	7	16
和気町	0	4	3	5
圏域	11	197	91	390

(資料:中国四国厚生局「保健医療機関等の施設基準の届け出受理状況等」)

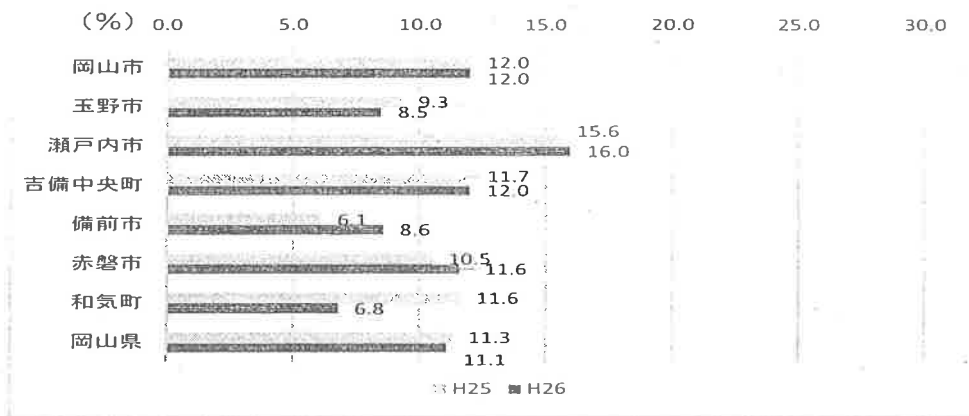
ア-2 訪問看護等

	在宅看取り 実施病院	在宅看取り 実施診療所	退院支援担 当者を配置 している病院	退院支援担 当者を配置 している診療 所	ターミナルケ ア対応訪問看 護ステー ション	訪問看護ス テーション 従事者数	短期入所 サービス実 施施設数
岡山市	1	23	22	10	33	236.0	79
玉野市	1	2	4	0	3	47.2	12
瀬戸内市	0	3	0	0	1	2.5	4
吉備中央町	0	1	1	0	0	0	6
備前市	0	0	0	0	2	7.1	9
赤磐市	0	2	1	1	4	15.5	7
和気町	0	0	1	0	0	0	4
圏域	2	31	29	11	43	308.3	121

(資料:医療推進課)平成26年3月31日現在

※吉備中央町は平成27年度から御津訪問看護ステーションのサテライトが設置されました。

イ 自宅死亡割合



(資料:厚生労働省「人口動態統計」)

ウ 県南東部地域医療連携推進事業

	平成28年度
地域医療連携推進会議	1回
在宅医療・介護連携推進事業担当者連絡会議	2回
研修会	1回

(資料:備前保健所「業務概要報告書」)

エ 医療と介護の連携促進のための草の根事業

	平成28年度
研修会	1回
ワーキング会議	回

(資料:備前保健所「業務概要報告書」)

(3) 公的病院等が担う役割

【施策の方向及び進捗状況】

項目	施策の方向	進捗状況
救急医療の充実	○救急告示病院として傷病者の受入れを推進するとともに、協力病院当番制病院への積極的参加を推進し、公的病院における救急医療の充実を図ります。	○県南東部圏域救急医療体制推進協議会や県南東部メディカルコントロール協議会等において、課題の共有や解決策の検討等、関係者の連携強化を図っています。
県民に信頼・安心される病院の実現	○地域連携の中心的役割を果たし、回復期リハビリテーションの実施や地域の診療所と連携した24時間診療体制による在宅医療を支援するなど、県民に信頼・安心される病院の実現を図るため、自治体病院の検討会議等を通じて支援します。	○病院の検討会議や地域の在宅医療連携会議等において地域の関係者と、公的病院の在り方をはじめ、地域医療体制について協議を行っています。
診療体制の充実	○研修医をはじめとする医師に対して、地域医療の魅力についての情報提供等により、医師確保を支援します。	○岡山県地域医療支援センターと各病院が連携を図り、医師確保に努めています。

(4) 医療安全対策

【施策の方向及び進捗状況】

項目	施策の方向	進捗状況
医療安全相談窓口	○地域の医療関係機関等と連携し、各機関において、医療安全相談に適切に対応する体制を構築するよう努めます。	○相談者の了解が得られた事案については、対象の医療機関へ情報提供し、適切な対応が出来る体制整備に努めています。
医療の安全確保	○院内感染や医療事故に関する情報等の迅速な情報提供に努めるとともに、医療機関への立入検査等を通じて安全管理体制の状況を把握する等、医療機関における適切な医療安全対策を進めます。	○病院への立ち入り検査を実施し、安全管理体制の確保や院内感染防止を進めています。

ア 医療機関の立ち入り検査 (単位: 件)

		平成27年度
岡山市	病院	54
	診療所	11
管内	病院	23
	診療所	3

(資料:岡山市、備前保健所「業務概要報告書」)

イ 医療安全相談 (単位: 件)

	平成27年度
岡山市	383
管内	18

(資料:岡山市、備前保健所「業務概要報告書」)

(5) 医薬分業
処方箋受取率

(単位：%)

区 分	平成21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
圏 域	49.6	52.1	54.4	56.1	57.2
岡山県	52.5	55.0	57.0	58.2	58.8
全 国	60.7	63.1	65.1	66.1	67.0

(資料：岡山県医薬安全課、長寿社会課、日本薬剤師会)

※圏域の数値は、国民健康保険分のみ。

注：平成29年3月現在、最新データは平成25年度分まで

保険調剤の状況(平成25年度)

区 分	薬 局 数	保険薬局数	請求保険薬 局数(a)	月平均処方箋 枚数(b)※	(b)/(a)
圏 域	408件	387件	402件	109,676枚	273枚
岡山県	807件	767件	784件	230,232枚	294枚

(資料：岡山県医薬安全課、長寿社会課、岡山県国民健康保険団体連合会)

※(b)は国民健康保険のみ。

注：平成29年3月現在、最新データは平成25年度分まで

【施策の方向及び進捗状況】

項目	施策の方向	進捗状況
効果的な普及啓発	○医薬分業の趣旨とメリットが広く理解されるよう、市町、薬剤師会と連携し、「薬と健康の週間」を中心に啓発活動に積極的に取り組めます。	○医薬分業の趣旨が正しく県民に理解されるよう、市町、薬剤師会と連携し、「薬と健康の週間」を中心に啓発活動を行っています。
かかりつけ薬局の定着	○医師会、歯科医師会及び薬剤師会等関係団体と連携し、「かかりつけ薬局」の定着を促進します。 ○糖尿病等の在宅医療地域連携の推進を通じて、複数医療機関受診における「かかりつけ薬局」の重要性を関係者間で共有します。	

3 保健医療対策の推進

① 健康増進・生活習慣病予防
【施策の方向及び進捗状況】

項目	施策の方向	進捗状況
健康増進活動の充実強化	<ul style="list-style-type: none"> ○「第2次健康おかやま21」※1や市町の健康増進計画の推進を支援します。 ○愛育委員会、栄養改善協議会等の関係団体と協働し、健康づくりや食育の取組を推進します。 ○「禁煙・完全分煙実施施設認定事業」、「栄養成分表示の店登録事業」について関係団体と協働して認定・登録施設数の拡大に取り組むとともに、広く住民に啓発します。 ○愛育委員、栄養委員が健康づくりボランティアとして地域の活動が効果的に展開できるよう、自主活動への取組を支援します。 ○健康増進のためのプログラム（「晴れの国33プログラム」等）の普及や活用により、県民が主体的に健康づくりに取り組む気運を醸成します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○健康増進計画の策定見直しや推進に向けて各市町の計画推進会議・検討会の場に参画しています。 第二次計画策定市町H28年度まで4市 H29年度2町 ○愛育委員会、栄養改善協議会の理事会や研修会、各市町の委員会活動を通じ健康づくりや食育の取組を推進しています。 ○健康づくりのための環境整備として、「禁煙・完全分煙実施施設認定事業」や「栄養成分表示の店登録事業」に取り組み、認定・登録施設の増加に努めています。（H28.12末） 禁煙完全分煙施設 984件 栄養成分表示店 496件 ○愛育委員会、栄養改善協議会が実施する「地域のお母さんがすすめる健康支援事業」など各種活動を支援しています。活動の成果が見えることで、やりがいを持てるように地域の課題や取組効果の情報提供をしています。 ○晴れの国33プログラムに取り組む市町や企業が増えるように、研修会や報告会への参加を呼びかけています。
生活習慣病予防の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○「第2次健康おかやま21」の基本理念に沿って一次予防の取組を強化します。地域・職域保健連携推進協議会等により、市町だけでなく、商工会など関係者と連携し、事業所におけるポピュレーションアプローチ※2の支援も行います。 ○医療保険者が行う特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向け、関係団体と連携して支援を行います。 ○医療保険者が行う保健事業を、効果的・効率的に実施するため、データヘルス計画の策定支援を行います。 ○関係団体と連携し、県民にがんについての情報を提供し、がん検診受診率の向上に努めます。 ○血糖値異常者等が増加していることから、岡山県栄養士会等と連携し、県民への健康教育や保健指導の充実に取り組めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○働く世代からの健康づくりを推進するため、地域職域保健連携会議を開催しています。全国保険者協議会や商工会等関係団体と連携し、事業所と連携した取組を推進しています。 ○特定健診保健指導やデータヘルス計画の推進のため、各市町へのヒアリングや情報提供や情報交換の場をもち、より効果的な取組ができるよう働きかけています。 平成29年度はモデル地区で医療と保健・保険関係者が協議できる場を持ち、糖尿病予防などの体制づくりを行う予定です。 ○がん検診受診率向上のために、研修会の場を持ち、検診制度改正に伴う体制づくりも含め協議をしています。 ○岡山県栄養士会等と連携し、県民への健康教育や保健指導の充実に取り組んでいます。

※1 第2次健康おかやま21：岡山県の健康づくりに関する総合的な行動計画のことです。

※2 ポピュレーションアプローチ:対象を一部に限定しないで集団全体へ働きかけをし、全体としてリスクを下げたいこうという考え方です。

ア 「禁煙・完全分煙施設」認定事業の状況 (単位:施設数)

	禁煙		完全分煙		計	
	平成27年度末	平成28年度	平成27年度末	平成28年度	平成27年度	平成28年度
岡山市	610	612	20	20	630	632
玉野市	81	81	1	1	82	82
瀬戸内市	45	45	0	0	45	45
吉備中央町	31	32	0	0	31	32
備前市	67	67	4	4	71	71
赤磐市	64	64	15	15	79	79
和気町	41	41	4	4	45	45
圏域	939	942	44	44	983	986
岡山県	2,457		95		2,552	

(資料:岡山市、備前保健所「業務概要報告書」)

イ 「栄養成分表示店」登録事業の状況 (単位:施設数)

	登録施設数	
	平成27年度末	平成28年度末
岡山市	369	370
玉野市	35	36
瀬戸内市	23	23
吉備中央町	5	5
備前市	21	21
赤磐市	26	26
和気町	15	15
圏域	494	496
岡山県	1,126	

(資料:岡山市、備前保健所「業務概要報告書」)

ウ 愛育委員栄養委員数

(単位:人)

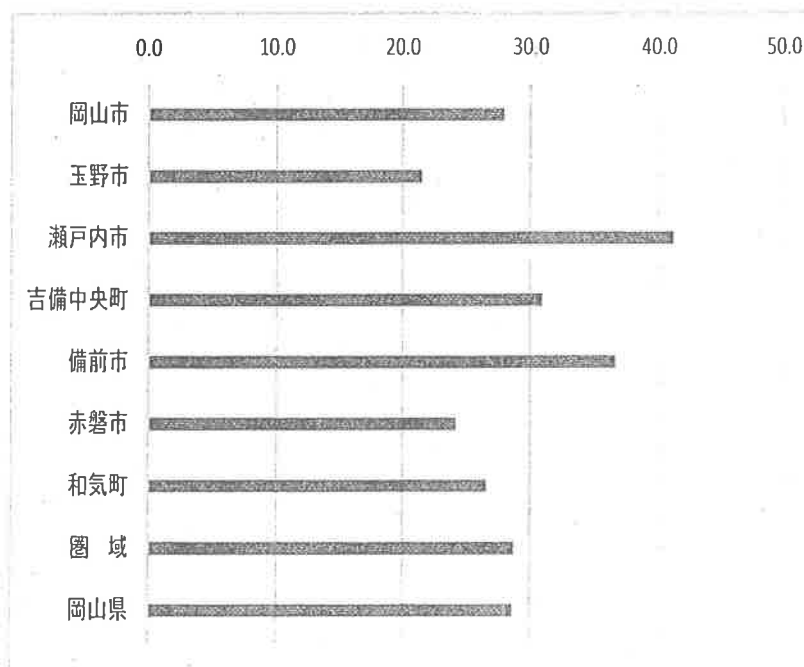
	愛育委員		栄養委員	
	地区数	委員数	地区数	委員数
岡山市		5,555		1,847
玉野市	16	776	14	354
瀬戸内市	18	385	14	220
吉備中央町	10	167	8	49
備前市	9	394		204
赤磐市	4	129		128
和気町	7	114		114
圏域		7,520		2,916
岡山県				

(資料:備前保健所「各組織調べ」)

エ 特定健診受診率 (単位:%)

(単位:%)

	平成27年度
岡山市	28.0
玉野市	21.6
瀬戸内市	41.2
吉備中央町	31.0
備前市	36.6
赤磐市	24.2
和気町	26.6
圏域	28.8
岡山県	28.7

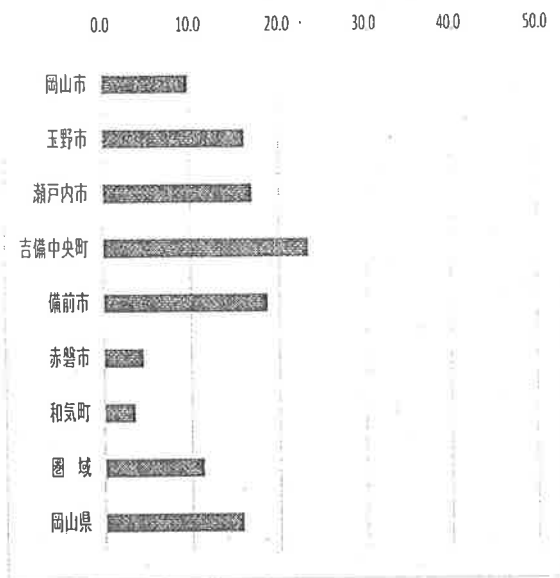


(資料:国民健康保険中央会特定健康診査等実施状況データ一)

才 特定保健指導

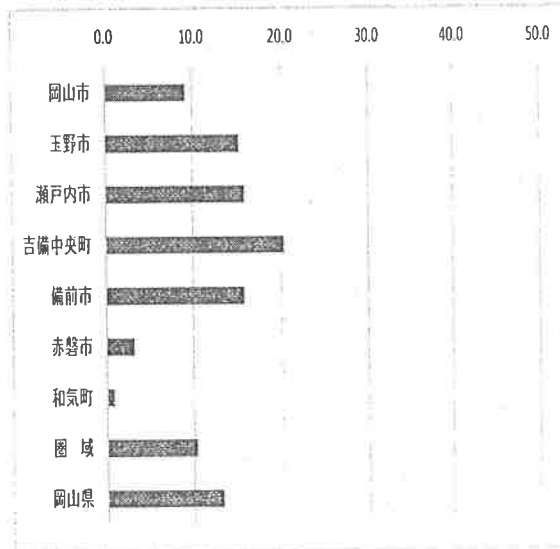
(単位:%)

	平成27年度利用者割合		
	積極的支援	動機付け支援	積極的支援+ 動機付け支援
岡山市	7.1	10.6	9.9
玉野市	13.5	16.8	16.2
瀬戸内市	15.3	17.4	17.0
吉備中央町	7.1	28.0	23.4
備前市	16.5	19.4	18.7
赤磐市	7.7	3.7	4.6
和気町	0.0	4.1	3.6
圏域	8.8	12.1	11.4
岡山県	11.6	16.9	15.8



(単位:%)

	平成27年度修了者割合		
	積極的支援	動機付け支援	積極的支援+ 動機付け支援
岡山市	6.3	10.1	9.3
玉野市	9.5	16.5	15.3
瀬戸内市	13.9	16.4	15.9
吉備中央町	3.6	25.0	20.3
備前市	13.2	16.6	15.8
赤磐市	3.1	3.2	3.2
和気町	0.0	1.0	0.9
圏域	7.2	11.3	10.4
岡山県	8.7	14.4	13.3



※利用者=利用者/対象者×100、修了者=修了者/対象者×100
 (資料:国民健康保険中央会特定健康診査等実施データ)

② 母子保健

【施策の方向及び進捗状況】

項目	施策の方向	進捗状況
母子保健活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○愛育委員会や保育所、幼稚園など地域の関係機関と連携し、乳幼児健康診査の受診率の向上を目指します。 ○市町は、妊婦面接、新生児訪問、乳児家庭全戸訪問事業、乳幼児健康診査に積極的に取り組むとともにハイリスク妊産婦・新生児連絡票の活用を進め、産科医療機関等との連携を図り、妊娠・出産期からの切れ目のない支援を実施し、子育ての不安や負担感に早期に対応し、児童虐待予防に努めます。 ○成長発達に課題を持つ児を市町の乳幼児健康診査等の機会に早期に発見し、その児が適切な療育を受けられるよう、子どもの健やか発達支援事業や市町が行う要観察児教室、発達障害児を抱える親の集い事業等により、保健、医療、福祉分野が連携した地域の支援体制づくりに取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○保育所や幼稚園などと連携し健診未受診者への受診勧奨を行うとともに、未受診者の状況を把握し、虐待の予防・早期支援に努めています。 ○妊娠期からのハイリスク妊婦への支援等妊婦面接からの支援について見直しを行い充実を図っています。 ○乳児健診や、乳児全戸訪問事業に取り組み早期の切れ目のない支援を市町で行っています。 ○ハイリスク妊産婦連絡票や気になる母子支援連絡票が効果的に活用されるように、県南東部圏域で産科医療機関と保健関係者の連絡会議や研修会に取り組んでいます。 ○発達が気になる児や不安のある母子を対象に市町と連携し専門医によるこどもの健やか発達支援事業に取り組んでいます。また、市町でも要観察児教室や発達障害児を抱える親の集いなどに取り組んでいます。 ○自立支援協議会や保育園と小学校の連絡会議などとおして、保健医療福祉教育関係者が連携し切れ目なく支援できるよう努めています。
育児支援の環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○地域ぐるみで子育て支援が推進できるよう、当圏域の愛育委員会、栄養改善協議会で継続実施している「地域のお母さんがすすめる健康支援事業」などを支援し、地域の育児力の向上を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○愛育・栄養委員が連携した取組ができるよう、「地域のお母さんがすすめる健康支援事業報告会」を通して、実践活動の共有を図り、組織力の向上に努めています。 ○愛育委員・栄養委員の声かけ活動や親子料理教室、中高生と赤ちゃんとのふれあい体験事業などを通じ、育児力の向上に努めています。
早期妊娠届出の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○市町を中心に愛育委員会とも連携し、妊娠11週までのできるだけ早い時期に妊娠届出をするよう啓発を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ○市町を中心に、妊娠11週までの早期に届出を出すよう啓発し、年々増加しています。
妊娠期等における喫煙、飲酒及びうつ予防対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○妊娠・出産届出時の面接や妊産婦訪問等において、市町が育児中の親への喫煙・飲酒についての健康教育が適切に行えるよう、支援します。 ○産後のうつなど産後のトラブル等の予防対策が適切に行えるよう、産科医療関係者と連携し、ハイリスク連絡票の活用等により、妊娠期から切れ目のない支援を行います。 ○愛育委員会・栄養改善協議会や学校と協働し、思春期からの健康づくりを行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ○妊娠・出産届出時の面接や妊産婦訪問等において、市町が育児中の親への喫煙・飲酒について情報提供や相談支援をしています。 ○ハイリスク妊産婦連絡票や気になる母子支援連絡票が効果的に活用されるように、県南東部圏域で産科医療機関と保健関係者の連絡会議や研修会に取り組んでいます。連絡票の利用数は年々増加しています。 ○思春期からの赤ちゃんとのふれあい体験学習や、未来のパパママを育てる出前講座等、教育・保健関係機関等が地域全体で子育て支援を行うため、連携して取り組んでいます。出前講座は年々希望する学校が増加しています。ふれあい体験学習後には、将来結婚し子育てをしたいという生徒が増えています。

ア 妊娠11週までに届出を行ったの割合
(単位:%)

	平成27年度
岡山市	94.4
岡山地域	91.6
東備地域	94.5
岡山県	94.0

(資料:岡山県健康推進課「岡山県の母子保健」)

イ 市町における妊婦訪問状況(妊娠届け出に対する家庭訪問割合)
(単位:%)

	平成27年度
岡山市	2.8
岡山地域	13.3
玉野市	10.3
瀬戸内市	3.9
吉備中央町	74.5
東備地域	4.1
備前市	8.2
赤磐市	2.8
和気町	1.0
岡山県	2.7

(資料:岡山県健康推進課「岡山県の母子保健」)

ウ ハイリスク妊産婦連絡票及び気になる母子支援連絡票受付状況
(単位:件)

	平成27年度		
	ハイリスク 連絡票	気になる母子 支援連絡票	計
岡山市	357	12	369
岡山地域	38	25	63
東備地域	31	17	48
圏域	426	54	480

(資料:備前保健所)

エ 1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査受診率
(単位:%)

	平成27年度	
	1歳6か月児	3歳児
岡山市	94.2	91.3
岡山地域	94.1	95.1
玉野市	95.3	96.0
瀬戸内市	93.6	97.2
吉備中央町	88.3	82.9
東備地域	93.4	89.5
備前市	96.4	91.0
赤磐市	91.2	88.4
和気町	95.8	90.8
岡山県	94.8	92.5

(資料:岡山県健康推進課「岡山県の母子保健」)

オ 1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査未受診児把握率
(単位:%)

	平成27年度	
	1歳6か月児	3歳児
岡山市	91.8	93.8
岡山地域	97.6	100.0
玉野市	100.0	100.0
瀬戸内市	100.0	100.0
吉備中央町	100.0	100.0
東備地域	100.0	98.7
備前市	100.0	100.0
赤磐市	100.0	96.0
和気町	100.0	88.9
岡山県	94.8	96.1

(資料:岡山県健康推進課「岡山県の母子保健」)

③ 高齢者支援

高齢者人口等の現状と推計

(単位:人)

項目	圏域				岡山県			
	現状	推計			現状	推計		
	H28	H29	H32	H37	H28	H29	H32	H37
総人口	908,471	914,360	903,021	882,111	1,915,401	1,925,949	1,892,555	1,840,775
高齢者数	249,650	252,646	258,483	259,873	549,665	557,269	566,902	562,988
要介護・要支援認定者数	51,387	57,937	64,206	71,032	114,837	125,068	136,027	147,009
認知症高齢者数	28,199	33,959	37,592	41,999	61,516	73,155	79,680	86,922

(注)「総人口」には年齢不詳者を含めているため、本文中に記載した高齢化率と表中の人数から算出した高齢化率は一致しない。

(注)「要介護・要支援認定者数」は第2号被保険者を含む。

(注)「認知症高齢者数」は「認知症高齢者の日常生活自立度」がⅡ以上の者
また、「現状」は平成24年度の人数

(資料:平成28年度総人口、高齢者数は岡山県統計調査課「岡山県毎月流動人口調査」10月1日現在)

(資料:平成28年度要介護・要支援認定者数は岡山県長寿社会課「介護保険事業状況報告」9月末現在)

(資料:その他の人数は岡山県長寿社会課「第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画」)

地域包括支援センターの状況(平成28年4月1日現在)

区分	施設数	備考(運営形態)
圏域	19施設	直営 4 委託 15
岡山県	68施設	直営 18 委託 50

(資料:岡山県保健福祉課「保健福祉施設・病院名簿」)

【施策の方向及び進捗状況】

項 目	施策の方向	進捗状況
<p>地域包括ケアシステムの構築に向けた支援</p>	<p>○地域包括ケアシステム構築の中核を担う地域包括支援センター職員の資質向上などの機能強化を通じて、市町が取り組む住民主体の介護予防事業の推進や生活支援サービスの提供体制の整備を支援します。</p> <p>○連絡会議や研修会等を通じて、認知症の人が早期から適切なサービスを受けることができる体制の整備、見守りネットワークの構築や介護家族に対する支援等、市町が取り組む認知症施策の推進を支援します。</p> <p>○高齢者を支援する関係団体と連携して、「食」を通じた高齢者の健康づくりを支援します。</p>	<p>○住民を対象とした地域包括ケア公開講座の市町との協働開催、市町地域支援事業連絡会議の開催等により、住民主体の介護予防・生活支援の推進やサービス提供体制の整備を支援しています。</p> <p>○地域包括支援センター職員等を対象とした認知症倫理法律研修会の開催、認知症介護家族交流会の瀬戸内市との協働開催等により、市町が取り組む認知症施策の推進を支援しています。</p> <p>○高齢者の食ネットワーク事業を管内で実施し、栄養改善協議会を中心に他団体と連携をとりながら高齢者の孤食や低栄養の防止、地域コミュニティ活動の推進による見守り声かけを行っています。</p> <p>事業の参加により、高齢者への声かけや、地域の人との交流が増えた人が49.5%いました。</p>

④ 歯科保健

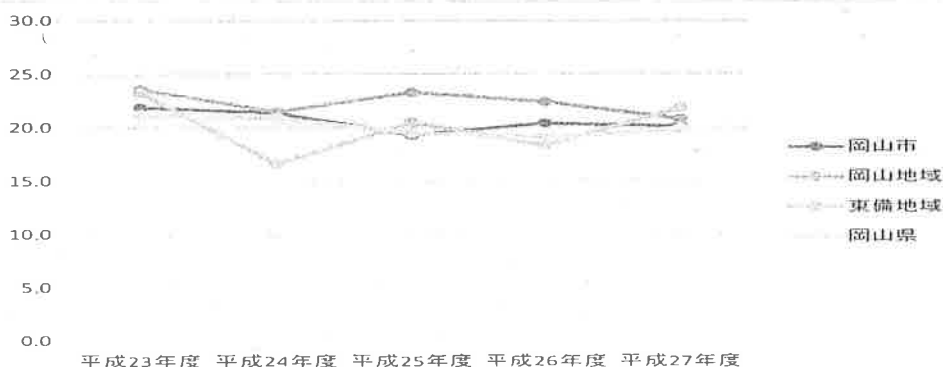
【施策の方向及び進捗状況】

項目	施策の方向	進捗状況
歯科保健の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○愛育委員会等と連携して、個別訪問や保育所、幼稚園等での、乳幼児のむし歯予防を啓発します。 ○「320運動」の目標達成を目指して、乳幼児期からの効果的なブラッシング方法や仕上げ磨きの啓発、フッ化物塗布等の普及など予防に重点を置いた保健指導の充実を図ります。 ○県南東部地域医療連携推進事業等の推進や愛育委員会や栄養改善協議会の活動を通じて、口腔ケアの必要性を啓発します。 ○医科歯科連携を図り、寝たきり者や高齢者の口腔ケアを推進し、誤嚥性肺炎の予防や栄養状態の改善に取り組み、QOLの向上を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○愛育委員会と連携したお誕生訪問等での虫歯予防の啓発や、保育園・幼稚園での虫歯予防の出前講座を市町を中心に実施しています。 ○市町では、妊婦学級等での健康教育や乳幼児健診での栄養指導、歯磨き指導などに取り組んでいます。専門家の指導だけでなく、愛育委員や栄養委員の住民への普及活動などのために、理事会等で情報提供し地域を挙げて虫歯予防の充実に努めています。 ○県南東部地域医療連携推進会議では医科歯科連携の必要性についても課題となり、各市町においても歯科医師等と連携した在宅歯科の推進に努めています。

ア 3歳児のむし歯有病率

(単位:%)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
岡山市	21.9	21.4	19.3	20.4	20.1
岡山地域	23.6	21.5	23.3	22.4	20.8
玉野市	21.9	19.9	20.6	21.5	20.2
瀬戸内市	22.8	23.5	24.1	23.9	20.9
吉備中央町	39.0	23.4	36.9	21.3	23.8
東備地域	23.3	16.6	20.5	18.3	21.8
備前市	30.2	16.9	22.0	19.6	20.7
赤磐市	18.4	15.5	19.3	17.9	21.9
和気町	24.7	20.8	22.4	16.9	23.6
岡山県	21.2	20.9	19.5	19.0	19.9

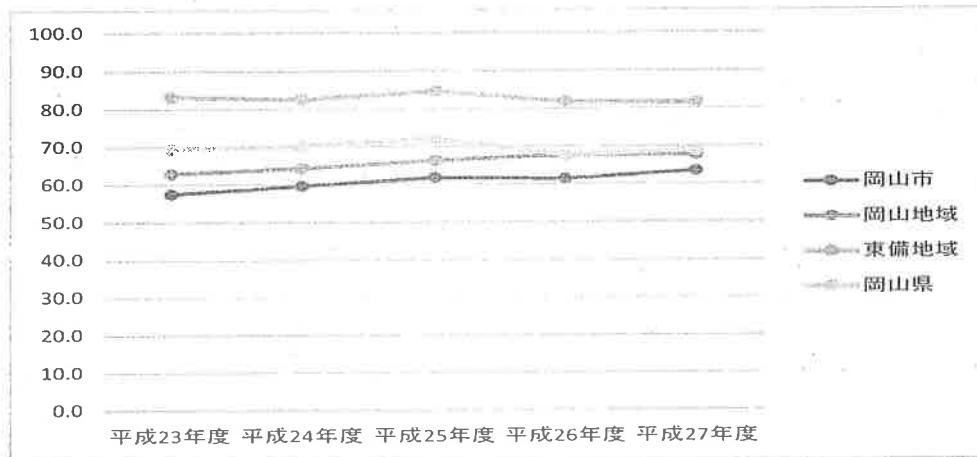


(資料:岡山県健康推進課「岡山県の母子保健」)

イ 3歳児フッ素塗布経験率

(単位:%)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
岡山市	57.5	59.6	61.8	61.4	63.4
岡山地域	62.9	64.3	66.3	67.7	67.7
玉野市	47.7	49.6	55.0	51.0	53.4
瀬戸内市	93.5	92.0	90.2	92.4	93.4
吉備中央町	50.8	45.3	36.9	62.3	44.4
東備地域	83.2	82.5	84.6	81.8	81.5
備前市	75.0	79.5	80.2	79.0	76.2
赤磐市	96.6	89.9	91.6	90.6	88.9
和気町	50.6	58.4	61.8	55.1	61.8
岡山県	69.4	70.1	72.2	67.7	68.9



(資料:岡山県健康推進課「岡山県の母子保健」)

⑤結核・感染症対策

【施策の方向及び進捗状況】

項目	施策の方向	進捗状況
結核対策の充実強化	<ul style="list-style-type: none"> ○適切かつ確実な治療が行われるよう、医療機関をはじめ関係機関と連携しながら服薬支援(DOTS)を推進します。 ○医師会と連携して医師に対する研修等を実施し、結核患者の早期発見と早期治療によるまん延防止に取り組みます。また、結核患者が一般病院、診療所で治療を受ける場合も、結核専門医療機関、結核専門医との連携による適切な医療を推進します。 ○有症状者が早期に医療機関を受診するよう、また高齢者や医療従事者、教育従事者等の健康診断(胸部X線検査等)受診率の向上を目指して、普及啓発を進めます。 ○愛育委員会と連携した啓発活動等により、市町のBCG接種率の向上を支援します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○登録患者に対するDOTSにより服薬支援を行っています。 ○医療機関と連携し、研修等を実施し、結核患者の早期発見と早期治療によるまん延防止に取り組んでいます。 ○結核予防週間や市町の健診受診勧奨等を通じて普及啓発を図るとともに、高齢者施設等で結核についての健康教育を実施しています。 ○愛育委員会の複十字シール募金活動や健診受診勧奨の活動を通じて普及啓発を図っています。
感染症対策の充実強化	<ul style="list-style-type: none"> ○市町等と連携しながら、感染症に関する正しい知識の普及により発生予防を図るほか、発生時には情報を迅速・的確に把握し、早期の予防対策の推進とまん延防止に取り組みます。 ○予防接種法に基づき市町が実施する定期予防接種について、市町や教育委員会等と連携し、接種率向上に向けた取組を支援するとともに、特に麻しんについては岡山県麻しん対策指針に従い、麻しん排除の状態を維持する取組を支援します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○市町や地区医師会等と連携しながら、感染症の予防に関するパンフレットの配付やホームページの活用等により、迅速かつ適切に情報提供し、発生予防及びまん延防止に努めています。 ○高等学校の生徒及び職員を対象とした予防接種研修会の開催や、市町を通して予防接種に関する普及啓発を進めています。

	<p>○医療関係者や関係機関等の研修、情報提供等により、新興感染症をはじめとする様々な感染症に対する健康危機管理体制の整備を推進し、発生時にはまん延防止に向けて、迅速かつ的確な対応を行います。また、新型インフルエンザに対しては、医療機関や市町等からなる地域連絡会議を開催し、発生時の体制整備や普及啓発を行います。</p>	<p>○社会福祉施設等の職員を対象とした研修会を開催し、平常時及び発生時の対応について啓発し、発生予防及びまん延防止に努めています。また、発生時には関係機関と連携の上、迅速かつ適切に対応しています。</p> <p>○県南東部圏域における新型インフルエンザ発生時の医療体制について、帰国者・接触者外来及び地域感染期の病床を確保し、体制整備に努めています。</p> <p>○感染症患者等移送ネットワーク構築に係る消防機関感染症対策研修会を開催し、連携を図っています。</p> <p>○高等学校と連携してエイズ出前講座を実施し、エイズ・性感染症等の正しい知識の普及啓発に努めています。</p>
	<p>○学校と連携し、エイズ出前講座等により、若年層に対するエイズ・性感染症の正しい知識の普及啓発に努めるとともに、イベント等を通じてハイリスク層への啓発に取り組みます。</p>	

ア 結核定期健康診断受診率（学校・医療機関・高齢者施設等）
（単位：％）

	平成26年度	平成27年度
岡山市	95.5	96.2
岡山地域	97.4	96.9
東備地域	97.3	97.1

（資料：岡山市、備前保健所「業務概要報告書」）

イ 乳幼児に対するBCG接種率（単位：％）

	平成26年度	平成27年度
岡山市	100.0	100.0
岡山地域	68.4	75.4
東備地域	84.0	68.5
岡山県	86.8	88.0

（資料：岡山市、備前保健所「業務概要報告書」）

ウ 新登録結核患者数 (単位：人)

	平成26年	平成27年
岡山市	94	81
岡山地域	16	13
東備地域	9	24
岡山県	254	235

(資料：岡山市、備前保健所「業務概要報告書」)

エ エイズ抗体検査 (単位：件)

	平成26年度	平成27年度
岡山市	480	-
岡山地域	174	145
東備地域	6	4
岡山県	1,113	1,311

(資料：岡山市、備前保健所「業務概要報告書」)

※岡山県はエイズ治療拠点病院検査も含む

オ 新規エイズ患者数及び新規HIV感染者の報告数

(単位：人)

		平成26年	平成27年
岡山市	エイズ患者	5	1
	HIV感染者	5	6
岡山県	エイズ患者	7	4
	HIV感染者	13	17

(資料：健康推進課資料)

⑥ 難病対策

【施策の方向及び進捗状況】

項目	施策の方向	進捗状況
難病対策の推進	<p>○岡山県難病相談・支援センター等関係機関と連携し、難病医療福祉相談や患者・家族の集いの開催、主治医等と連携した療養相談、家庭訪問を行います。また、市町の実施する居宅生活支援事業の活用を進めます。</p> <p>○在宅療養支援計画策定評価事業を通じて、医療機関、訪問看護ステーション、ヘルパーステーション等と連携しながら、在宅療養生活を支援します。</p> <p>○災害時に難病患者や家族が安全に避難できるよう、個別支援計画の策定など、市町や関係機関と連携し支援体制を整備します。</p>	<p>○平成27年1月から難病法が施行され。対象疾患も306に拡大されました。</p> <p>○難病医療福祉相談や患者・家族の集いを各支町において開催するとともに、特定医療費受給者証申請時の面接や訪問を実施し市町の障害福祉サービス、介護保険の活用を行いました。</p> <p>○在宅療養支援計画策定評価事業を通じて関係機関等と連携しながら在宅療養生活の支援を進めました。</p> <p>○難病患者の状況に応じて個別支援シートを作成し、市町の災害担当部署と情報を共有し連携を図りました。</p>

ア 医療受給者証の交付(単位:件)

	平成27年度
岡山市	6,261
玉野市	600
瀬戸内市	363
吉備中央町	123
備前市	393
赤磐市	398
和気町	176

(資料:岡山市、備前保健所「業務概要報告書」)

イ 在宅療養支援計画策定評価事業

(単位:件)

	平成27年度
岡山市	-
岡山地域	7
東備地域	15

(資料:岡山市、備前保健所「業務概要報告書」)

ウ 医療福祉相談(単位:件)

	平成27年度
岡山市	-
岡山地域	3
東備地域	2

(資料:岡山市、備前保健所「業務概要報告書」)

エ 相談窓口の開設と利用状況(単位:回数、人)

		平成27年度
岡山市	実施回数	16
	利用者数	310
岡山地域	実施回数	9
	利用者数	566
東備地域	実施回数	4
	利用者数	146

(資料:岡山市、備前保健所「業務概要報告書」)

⑦ 健康危機※管理

※ 健康危機：健康危機とは、医薬品、食中毒、感染症、飲料水その他何らかの原因により生じる国民の生命、健康への安全を脅かす事態です。最近では、平成21年の「新型インフルエンザ」が該当します。

【施策の方向及び進捗状況】

項目	施策の方向	進捗状況
健康危機管理の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○医療機関や社会福祉施設関係者等を対象とした新型インフルエンザやノロウイルス感染等の感染予防研修会を開催し、健康危機事案の発生予防や発生時に適切な対応ができるよう取り組みます。 ○健康危機事案発生時に適切な医療が提供できるよう、地区医師会、感染症指定医療機関に必要な健康危機情報を提供するとともに、医療体制について検討します。 ○健康危機管理マニュアルに基づき、保健所の健康危機管理体制を強化するとともに、医療機関、消防、警察等の関係機関と地域連絡会議や合同訓練の開催等を通じて連携を図ります。 ○健康危機事案発生時には、適切に情報を収集・提供し、迅速に初動体制を確保することとし、感染や被害の拡大防止に関係機関と協働で取り組みます。 また、感染者や被害者、家族等の心のケアに取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会福祉施設における感染症発生予防対策について、研修会の開催や発生時の早期対応により、まん延防止を図っています。 ○健康危機事案の発生に備え、平時から関係機関との連絡会議、職員を対象とした研修会等を開催し、体制の整備を図っています。また、新型インフルエンザについては、関係機関と協議を行い、入院等医療体制の整備を図っています。 ○夜間休日連絡体制等、マニュアルの整備を行うとともに、平時に連絡会議や研修会等を開催し、関係機関が連携して健康被害拡大防止対策がとれるよう、連携の強化を図っています。 ○健康危機事案の発生に備え、平時から関係機関との連絡会議、職員を対象とした研修会等を開催し、体制の整備を図っています。

⑧ 医薬品等安全対策

【施策の方向及び進捗状況】

項目	施策の方向	進捗状況
監視指導の実施	○薬局、医薬品販売業者等に対して、医薬品医療機器等法への適切な対応及び医薬品の適正使用に必要な情報提供の徹底を重点とした監視指導を効果的かつ効率的に実施します。	○薬局、医薬品販売業者等へ計画的に監視指導を実施し、医薬品の適正な取扱い等について、必要な指導を行っています。
医薬品の適正使用の推進	○市町、薬剤師会と連携し、「薬と健康の週間」事業等の機会を通じ、医薬品の適正使用のための知識の普及に積極的に取り組みます。	○市町、薬剤師会と連携し、県民に対し、「薬と健康の週間」事業等の機会を通じ、医薬品の適正使用のための正しい知識の普及に取り組んでいます。

⑨ 血液確保対策

献血者の状況(住所別)

(単位:人)

区分	200mL 献血			400mL 献血			成分献血			計
	岡山市	岡山地域	東備地域	岡山市	岡山地域	東備地域	岡山市	岡山地域	東備地域	
平成23年度	2,975	418	394	16,493	2,707	2,692	15,568	1,448	1,233	43,928
24年度	1,089	163	105	18,367	2,788	2,792	16,016	1,581	1,257	44,158
25年度	1,992	191	130	19,790	2,981	2,803	15,092	1,461	1,170	45,610
26年度	1,241	106	100	19,151	2,906	2,504	11,887	1,193	994	40,082
27年度	1,152	104	82	17,796	2,618	2,592	11,670	1,128	867	38,009

(資料:岡山県赤十字血液センター)

【施策の方向及び進捗状況】

項目	施策の方向	進捗状況
献血者の確保対策	○若年層の献血協力者を増やすため、市町や愛育委員会等の地区組織と連携し、高等学校や大学等においてキャンペーン等を実施し、若者の血液事業に関するより一層の理解の促進に努めます。 ○市町や愛育委員会等の地区組織、さらには企業等との連携を密にし、「地域ぐるみ」、「職域ぐるみ」の献血の推進に努めます。	○市町や愛育委員会等の地区組織と連携し、高等学校文化祭等において献血パネルの展示や献血クイズを実施し、若年層の血液に対する正しい理解の普及に努めています。 ○市町や愛育委員会等の地区組織、ライオンズクラブ等の献血協力団体と連携し、献血協力者の確保に努めています。

⑩ 薬物乱用防止対策

【施策の方向及び進捗状況】

項目	施策の方向	進捗状況
薬物乱用防止の普及啓発	<p>○覚醒剤等薬物乱用防止指導員地区協議会活動を通じて、薬物に対する正しい知識や薬物乱用の恐ろしさについて広く普及啓発を推進します。</p> <p>○薬物乱用防止教室に講師を派遣するなど、中高校生等若年層への普及啓発に努めます。</p> <p>○「ダメ。ゼッタイ。」普及運動等各種の普及啓発活動の充実を図ります。</p>	<p>○覚醒剤等薬物乱用防止指導員地区協議会を中心に、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動や麻薬・覚せい剤乱用防止運動等、地域に根ざした普及啓発運動を実施しています。</p> <p>○薬物乱用防止教室への講師派遣や啓発資材の貸出を行うなどにより、中高校生等若年層へ薬物に対する正しい知識について、普及啓発に努めています。</p>

⑪ 生活衛生対策

生活衛生関係営業等施設数(平成29年1月末現在)

区分	岡山市	岡山地域	東備地域	圏域
興行場	31	5	3	39
旅館業	209	82	58	349
公衆浴場	113	16	12	141
理容所	687	135	110	942
美容所	1,574	219	174	1,963
クリーニング所	795	68	95	963
特定建築物	285	28	19	331

*別に移動美容所1件有り

(資料:岡山市、備前保健所)

【施策の方向及び進捗状況】

項目	施策の方向	進捗状況
生活衛生関係営業施設等の衛生水準の向上	<p>○生活衛生関係営業施設や特定建築物の衛生的環境を確保するため、効率的な監視指導を行うとともに、自主的な衛生管理を促進することにより衛生水準の維持向上を図ります。</p>	<p>○生活衛生関係営業施設や特定建築物に対して監視指導を行うとともに、理容師、美容師に対して衛生講習を行い、衛生知識の普及啓発に努めています。</p>
入浴施設におけるレジオネラ属菌による健康被害防止対策	<p>○入浴施設を原因とするレジオネラ感染症の発生防止を図るため、循環式浴槽の公衆浴場や旅館に対して水質検査を実施するとともに、正しい知識の普及啓発等により衛生管理の徹底を指導します。</p>	<p>○循環式浴槽の公衆浴場や旅館に対して浴槽水等の行政検査を実施し、検査結果に基づき指導を行っています。</p>

⑫ 食品安全対策

年別病因物質別食中毒発生件数

(単位:件)

区分	岡山市					岡山地域					東備地域					圏域				
	平成23年	24年	25年	26年	27年	平成23年	24年	25年	26年	27年	平成23年	24年	25年	26年	27年	平成23年	24年	25年	26年	27年
カンピロバクター			1	1														1	1	
サルモネラ属菌																				
腸炎ビブリオ																				
病原大腸菌																				
ノロウイルス	2	3	1	1	2			1		1					2	3	2	1	3	
自然毒					2															2
その他、不明		2	2		1				1				1			2	3	1	1	
総数	2	5	4	2	5			1	1	1			1		2	5	6	3	6	

(資料:岡山県生活衛生課、備前保健所)

行政検査実施状況(平成27年度)(単位:件)

区分	検体数
生食用かき	47
加工・洗浄用の使用水	40
養殖海域の海水	106

(資料:備前保健所)

かき生産量(むき身)

(単位:t)

区分	平成23年	24年	25年	26年	27年
圏域	3,747	3,789	3,955	2,232	3,166
岡山県	3,892	3,904	4,076	2,387	3,272

(資料:岡山県水産課)

かき処理業者数(平成28年3月末現在)

(単位:件)

区分	かき打ち処理業者	むき身処理業者 (パッカー)	計
圏域	87	16	103
岡山県	98	26	124

* 備前保健所のみ

* 備前、備中保健所

(資料:備中保健所、備前保健所)

【施策の方向及び進捗状況】

項目	施策の方向	進捗状況
生産から消費までの食の安全確保	<p>○ノロウイルスやカンピロバクター等による食中毒の発生防止に重点を置いて、飲食店、旅館、弁当・仕出し屋、給食施設の監視指導を行います。</p> <p>○広域流通食品等事業者に対して、適正な衛生管理、記録の作成・保存、適正な表示の実施等を徹底するよう監視指導を行います。</p>	<p>○飲食店、旅館、弁当・仕出し屋、給食施設等の監視指導を行い、特に、全国的に発生件数の多いノロウイルス、カンピロバクターによる食中毒の発生防止に努めています。</p> <p>○広域流通食品等事業者に対して、衛生管理、記録、表示を適切に実施するよう指導しています。</p>

<p>リスクコミュニケーション※1の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○消費者に生産現場の視察や体験、生産者との意見交換を実施することを通じて、相互に理解を深めるリスクコミュニケーションの場を設けます。 ○「食の安全相談窓口」を引き続き設置します。 ○食品営業施設、一般消費者等を対象に、食中毒防止等の食品衛生知識や食の安全・安心に関する講習会を開催します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○消費者等を集め、生産現場や製造施設を視察し、事業者との意見交換を実施する等、相互理解を深めるための取り組みを行っています。 ○「食の安全相談窓口」を引き続き設置し、消費者等からの相談に対し適切な対応を行っています。 ○食品営業施設、一般消費者等を対象に、過去の食中毒事案等を参考とした衛生管理方法の講習や、参加体験型講習等わかりやすい講習会を開催しています。
<p>かきの衛生確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○生かきの衛生確保を図るため、かきだけでなく海域海水の検査を行うとともに、関係者を対象とした衛生講習会を開催し、安全・安心なかきの生産を支援します。 ○業界の自主管理体制を確立するため、自主検査の強化、ロット管理を含むトレーサビリティ・システム※2の充実、違反等発生時の的確な対応について関係機関等との連携を図りながら支援・指導を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ○かき及び海域海水の検査を行うとともに、関係者を対象とした衛生講習会を開催して、安全・安心なかきの生産を支援しています。 ○自主検査の強化、ロット管理を含むトレーサビリティ・システムの充実、違反等発生時の的確な対応について関係機関等との連携を図りながら支援・指導を行っています。

※1 リスクコミュニケーション:関係者相互に食品危害に関する情報を共有し、意見交換などを通じて意思疎通と相互理解を図ること。

※2 トレーサビリティ・システム:消費者の安心のため、農林水産物生産段階から消費者に届くまでの流通経路を特定できる仕組みのこと。

4 保健医療従事者の確保と資質の向上

(1) 医師

【施策の方向及び進捗状況】

項目	施策の方向	進捗状況
医師の確保	○地域医療人育成センターおこやま等が行う医師確保対策に協力するとともに、これらの施策に関する関係機関への情報提供を行います。	○「岡山県地域医療支援センター」の運営等、医師確保の施策に協力するとともに、医大生のインターンシップ実習に協力し、公衆衛生活動について紹介する等、情報提供に努めています。

(2) 歯科医師

【施策の方向及び進捗状況】

項目	施策の方向	進捗状況
歯科医師の確保	○歯科医師会等関係機関の協力を得て、高齢者のかかりつけ歯科医の確保に努めるとともに、在宅歯科治療に従事する歯科医師の増加に努めます。	○岡山県歯科医師会に設置された「歯科往診サポートセンター」の利用について会議や研修会等で普及啓発を行っています。

(3) 薬剤師

【施策の方向及び進捗状況】

項目	施策の方向	進捗状況
薬剤師の確保	○岡山県薬剤師会等関係団体が、薬剤師の資質の向上を目的として開催する各種研修事業等へ積極的に協力するとともに、関係機関と連携して薬剤師の安定的な確保に努めます。	○県南東部地域医療連携推進会議に薬剤師も参画し、在宅医療の推進に向けた、協議、研修等を行っています。

(4) 看護職員

【施策の方向及び進捗状況】

項目	施策の方向	進捗状況
看護職員の確保と資質の向上	○医療機関や岡山県看護協会岡山市支部、岡山支部、東備支部と連携し、岡山県看護協会等の実施する研修へ参加しやすい環境をつくり、看護職員の資質向上を図るとともに、離職防止や再就業の促進にも取り組めます。	○看護職員確保対策連絡協議会等に参加し、岡山県看護協会が行う研修会や就職説明会等の周知を図っています。

(5) その他の保健医療従事者
【施策の方向及び進捗状況】

項目	施策の方向	進捗状況
その他の保健医療従事者の確保と資質の向上	○各職能団体等と連携し、技術向上のための研修の支援等を進めるとともに、医療機関等と連携し研修に参加しやすい職場づくりを支援することにより、保健医療従事者の確保対策を推進します。	○保健、医療、介護分野に従事する保健医療従事者について、各分野での研修会を開催し、資質の向上に努めています。

ア 医師・歯科医師・薬剤師数(人口10万対)

	医師		歯科医師		薬剤師	
	H24	H26	H24	H26	H24	H26
圏域	332.8	347.1	115.1	115.7	238.9	143.4
岡山県	290.2	299.4	89.6	89.1	190.0	204.6

(資料:厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」、衛生行政報告例、岡山県統計分析課「岡山県毎月人口流動調査」)

イ 保健師・助産師・看護師・准看護師(人口10万対)

	保健師		助産師		看護師		准看護師	
	H24	H26	H24	H26	H24	H26	H24	H26
圏域	47.2	66.3	26.8	26.2	1068.9	589.5	262.4	307.1
岡山県	48.9	48.6	24.2	23.5	1032.2	1087.6	282.3	266.1

(資料:厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」、衛生行政報告例、岡山県統計分析課「岡山県毎月人口流動調査」)